

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会青少年支援室	はたちの集い開催事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「はたちの集い」を通じて若者が松江の魅力を認識し、興味・関心を抱くことで地域への愛着を深めることにより定住促進や関係人口増につながるような機会とする。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		出席率（％）	75.01	85	85	85
	目標（何を達成するのか）					
	「はたちの集い」開催について広く周知し、参加の促進を図る。					

事業概要	○開催日：1月（成人の日を含む3連休の中日に開催） ○対象年齢：当該年度に20歳を迎える方 ○対象者数：約2,000人 ○企画立案・運営：当該年度対象者を中心に、一般公募により選出した委員で組織する実行委員会が行う。 ○内容：大人としての社会的責任・自覚を促すとともに、地域への愛着心の醸成を図り、定住促進や関係人口増につながるような場となるよう実施する。
------	--

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	「はたちの集い」の開催（R6.1.7開催 会場：くにびきメッセ） 4年ぶりに一括開催し、式典後にはイベントを実施。 出席者数1,441人 出席率75.01％ ・はたちの集い実行委員会の開催（7回） 実行委員8名 ※市報や市HPなどを通じて公募を行い、委員を選出。 ・市内の企業・団体から62件の協賛をいただき実施。 協賛企業・団体のPR動画を会場で上映。 ・著名人の写真・サイン入り応援メッセージや市内カフェ情報などを掲載したパンフレットを作成。 ・会場内でパンフレットや防災メール登録、市公式LINE登録、消費生活等に関するチラシ・冊子を配布。 ・著名人からのメッセージビデオの上映や3年後の自分宛へのメッセージをはがきで伝えるコーナー、中学校時代の恩師からのメッセージ掲示、ドローンや撮影ブースでの記念撮影など、出席者が楽しみ交流できる企画を実施。	「はたちの集い」の開催（R7.1.12） ・はたちの集い実行委員の募集（4月～6月） ・はたちの集い実行委員会開催（7月～12月 月1回） 式典等の企画・運営方法について意見交換を行い、決定。 ・市内各企業、松江青年会議所等の団体に対し協力・連携の依頼。	「はたちの集い」の開催 ・はたちの集い実行委員の募集（4月～6月） ・はたちの集い実行委員会開催（7月～12月 月1回） 式典等の企画・運営方法について意見交換を行い、決定。 ・市内各企業、松江青年会議所等の団体に対し協力・連携の依頼。
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	3,504	3,489
	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	3,504	3,489
歳入合計		3,504	3,489

課題	「はたちの集い」が定住促進や関係人口増を図る機会となるよう企画を構築し、実施する必要がある。	方向性	「はたちの集い」が定住促進や関係人口増を図る機会となるよう市内各企業や松江青年会議所等の団体からの意見を参考に、実行委員会で企画、運営方法を検討して進める。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	はたちの集い開催事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～6月	実行委員募集		
	7～12月	実行委員会の開催		
	1月	はたちの集い開催		
	2～3月	振り返り（事業報告）		

本事業に関する主要データ

【令和6年松江市はたちの集い】



式典開催状況

実行委員会活動状況



はたちの集い実行委員

開催年	令和4年	令和5年	令和6年
開催日	1月9日（日）	1月8日（日）	1月7日（日）
会場	くにびきメッセ		
開催方式	2部開催（午前・午後）		一括開催
出席者数	1,420人	1,450人	1,441人
出席率	68.66%	70.18%	75.01%

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	61		
役務費	349		
委託料	3,079		
事業費計		3,489	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	ＵＩターン促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ＵＩターン希望者に対する支援や松江市の縁者への情報発信を行うことにより、松江市へのＵＩターン促進を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		市への相談対応件数（件）	170	100	100	100
	目標（何を達成するのか）	市のサポートにより定住した人数（人）	60	15	15	15
	ＵＩターン者の増加					

事業概要	松江市へのＵＩターン希望者に対する相談対応、県外でのＵＩターンフェアにおける出張相談の実施により、ＵＩターン者の増加を図る。また、ＵＩターン相談登録者や松江市の縁者に対して定住に関する情報発信を行い、将来的な松江市へのＵＩターンを促す。
------	--

事業計画	R5実績見込		R6計画	R7計画
	ふるさと島根定住財団主催の移住相談フェアに参加。松江市への移住に興味がある人の相談を受け、イベント後もメールなどでやり取りをしている。		引き続き移住相談会などに積極的に参加し、松江市への移住のPRを行う。	引き続きふるさと島根定住財団と協力しながら移住施策に取り組んでいく。
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		6,254	10,390
財源内訳	国・県支出金	491	535
	地方債		
	その他		0
	一般財源	5,763	9,855
歳入合計		6,254	10,390

課題	他市町村に比べ、移住に関する支援メニューが少ない中で、「松江市」を選んでもらえるプロモーションをどのように行っていくかが課題。就業支援コーディネーターによる、企業と就職希望者とのマッチングも積極的に行っていく。	方向性	今後も 県及びふるさと島根定住財団等と連携を深め、本事業や就業支援事業を継続的に実施する。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	UIターン促進事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	移住相談会（東京）		
	7月	移住イベント（大阪）		
	10月	移住イベント（東京）		

本事業に関する主要データ

しまね移住フェアin大阪(2023.7.15)



しまね移住フェアin東京（2023.11.19）



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	5,772		
職員手当等	1,648		
共済費	1,392		
旅費	1,280		
役務費	172		
委託料	93		
使用料及び賃借料	33		
事業費計		10,390	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	高校魅力化コンソーシアム運営マネージャー配置事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	高校時代から地域や地元とのつながりを作ることにより、将来的なUIターン志向の増加を促し、松江市への定住を視野に入れるとともに、居住地に関係なく地域の活性化に貢献したいと思う高校生を増やす。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		地元企業の仕事等を知っている生徒(%)	50	70	80	80
	目標（何を達成するのか）					
	自分にとって魅力ある地元企業の仕事内容や職場環境を知っている生徒の増加。 将来、居住地に関係なく松江市の活性化に貢献したいと考える生徒の増加。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 地元企業の仕事内容や職場環境を知っている生徒の割合【対象生徒へのアンケート】：2029（R11）年度 松江市内2つの県立高校をモデル校とし、高校魅力化コンソーシアム運営マネージャーを配置することで、地元の産業や企業への理解を深めたり、卒業生ネットワークの構築を図る取り組みを推進する。

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	引き続き松江南高校、松江商業にそれぞれコンソーシアムマネージャーを1名ずつ配置。 地元公民館、市内企業と連携しながらイベントなどを行う、地域おこし協力隊と探究の学習をするなど、学生と地域プレイヤーの連携強化を図る取り組みを実施した。	引き続き学生と地元・地域の連携を強化する取り組みを実施する。	引き続き学生と地元・地域の連携を強化する取り組みを実施する。
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

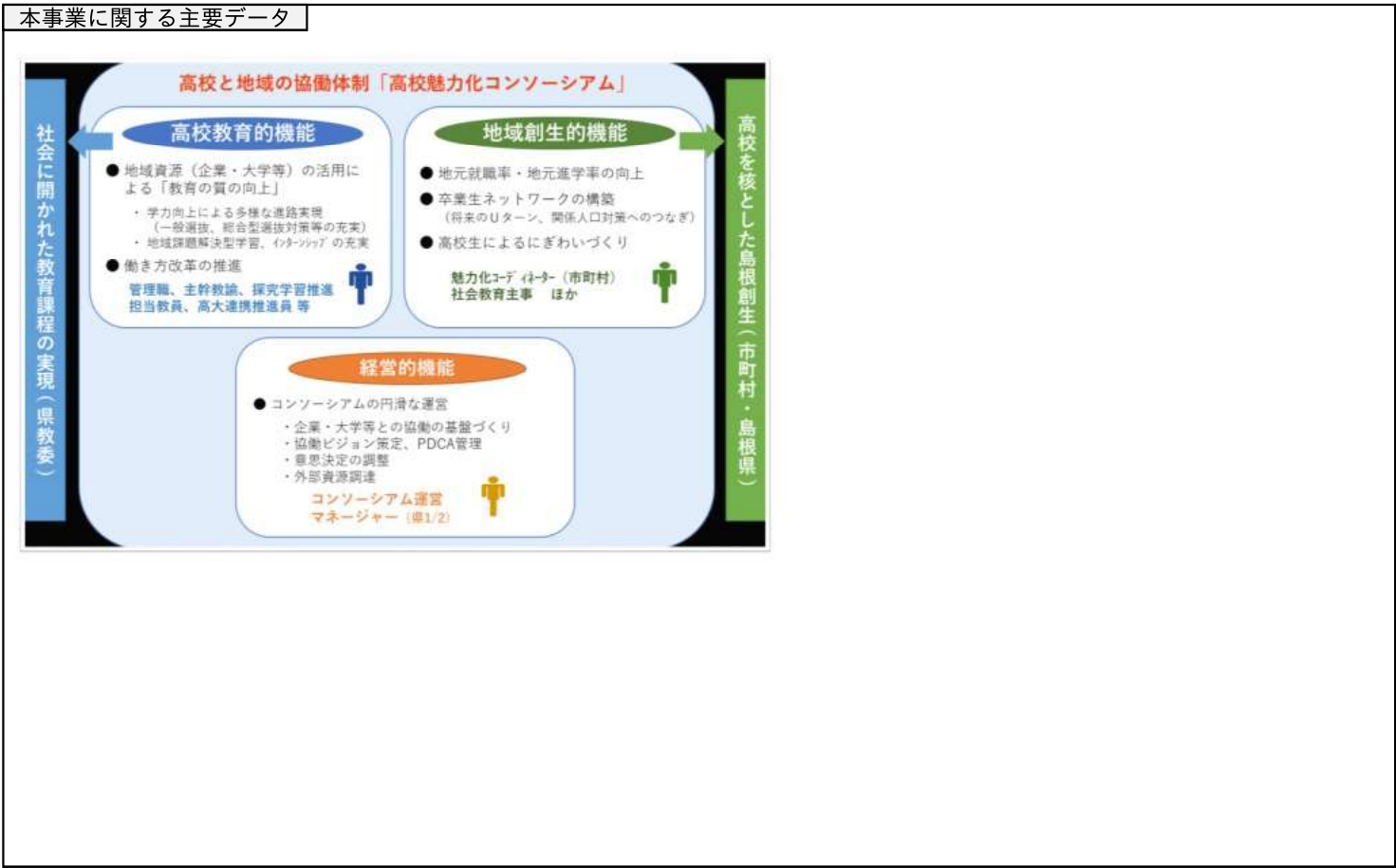
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	6,501	7,935
	国・県支出金	4,876	5,907
	地方債		
	その他		0
	一般財源	1,625	2,028
歳入合計		6,501	7,935

課題	将来的なUターン志向の増につながる、地元で働く若年社会人や地域で活躍する人との接点づくりを強化していかなければならない。	方向性	それぞれのコンソーシアムの特色を出しつつ、探究の学習や地域活動を通じて、学生と地域のつながりをつくっていく。
----	--	-----	--

産業経済部定住企業立地推進課 高校魅力化コンソーシアム運営マネージャー配置事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	高校魅力化コンソーシアム運営マネージャー配置事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	R6.4	コンソーシアムマネージャー配置		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	5,098		
職員手当等	1,253		
共済費	1,165		
旅費	251		
役務費	49		
使用料及び賃借料	119		
事業費計		7,935	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
政策部政策企画課	MATSUE DREAMS 2030推進費・ミライソウゾウ会議開催事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」に掲げた将来像「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」の創造にむけて、5つの基本目標、18の基本施策を掲げ取り組む。	項目（成果指標） 出生数（人） ※R3からの累計値	R5実績見込 4,273	R6計画	R7計画	目標値 9,000
	目標（何を達成するのか）	社会増減（人） ※R3からの累計値	-1,112			1,300
	・各施策の徹底した評価と見直しを進めるため、総合的な調整を行う。 ・若者の主体的なまちづくりへの参画を促し、本市への愛着を深める。	松江に愛着を持つ高校生・学生の割合（％）	65.6	68.0	69.0	75.0

事業概要	【MATSUE DREAMS 2030推進費】 ・外部委員で構成する「松江市総合計画審議会」を開催し施策の検証を行うとともに、各施策の検証・見直しのための基礎資料として、市民アンケートを実施する。
	【ミライソウゾウ会議開催事業費】 ・総合計画の策定時から実施している「ミライソウゾウ会議」を、コミュニティ形成とアイデアの実践に向けた学びの場として引き続き開設する。
	（目標値の目標年度） 出生数（人）・社会増減（転入－転出）（人）：2025（R7）年度（2021（R3）～2025（R7）年度の5年間での目標として設定） ※2021（R3）年度に見直しを行い、以降は5年おきに目標となる数値を設定 松江に愛着を持つ高校生・学生の割合（％）：2029（R11）年度

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	・松江市総合計画実施計画（R4～6年度）の策定 ・総合計画審議会の開催 ・まちづくりのための市民アンケート（市民・学生・高校生・中学生）の実施 ・ミライソウゾウ会議の開催	・松江市総合計画実施計画（R5～7年度）の策定 ・総合計画審議会の開催 ・まちづくりのための市民アンケート（市民・学生・高校生・中学生）の実施 ・ミライソウゾウ会議の開催	・松江市総合計画実施計画（R6～8年度）の策定 ・総合計画審議会の開催 ・まちづくりのための市民アンケート（市民・学生・高校生・中学生）の実施 ・ミライソウゾウ会議の開催
	達成度 1計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		9,216	10,013
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,258	2,614
	一般財源	6,958	7,399
歳入合計		9,216	10,013

課題	・総合計画に掲げる将来像を市民・民間事業者と共有し、その実現に向けそれぞれの立場で行動するために、策定した計画を広く周知し、浸透させていく必要がある。 ・ミライソウゾウ会議への参加をきっかけとして若者を地域活動へ繋げる。	方向性	・計画に定めた数値目標及び重要業績評価指標（KPI）により各担当部局で施策の評価検証を行うとともに、外部委員で構成する「松江市総合計画審議会」の意見を踏まえ、効率的・効果的な施策の展開に繋げていく。 ・総合計画策定時から開催しているワークショップ「ミライソウゾウ会議」を継続実施し、「夢を実現できるまち」の創造に向けた若者のまちづくりへの参画を促していく。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	夢を実現できるまち推進事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	総合計画実施計画見直し（R5～7年度）		
	6～7月	市民アンケート		
	8～3月	ミライソウゾウ会議		
	9月	総合計画審議会		

本事業に関する主要データ

●社会増減の推移（H23-R5） ※各年10月～9月 出典：島根県人口移動調査

●出生数の推移（H23-R5） ※各年10月～9月 出典：島根県人口移動調査

●松江に愛着を持つ学生・高校生の割合
出典：R5まちづくりのための市民アンケート（学生・高校生）

●R5年度ミライソウゾウ会議の様子

※ 数値目標：松江に愛着を持つ高校生・学生の割合
=（学生、高校生のとても愛着を感じている人数＋愛着を感じている人数）／（学生、高校生の回答者数）

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	169		
需用費	647		
役務費	15		
委託料	9,182		
事業費計		10,013	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	ＵＩターン促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ＵＩターン希望者に対する支援や松江市の縁者への情報発信を行うことにより、松江市へのＵＩターン促進を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		市への相談対応件数（件）	170	100	100	100
	目標（何を達成するのか）	市のサポートにより定住した人数（人）	60	15	15	15
	ＵＩターン者の増加					

事業概要	松江市へのＵＩターン希望者に対する相談対応、県外でのＵＩターンフェアにおける出張相談の実施により、ＵＩターン者の増加を図る。また、ＵＩターン相談登録者や松江市の縁者に対して定住に関する情報発信を行い、将来的な松江市へのＵＩターンを促す。
------	--

事業計画	R5実績見込		R6計画		R7計画	
	ふるさと島根定住財団主催の移住相談フェアに参加。松江市への移住に興味がある人の相談を受け、イベント後もメールなどでやり取りをしている。		引き続き移住相談会などに積極的に参加し、松江市への移住のPRを行う。		引き続きふるさと島根定住財団と協力しながら移住施策に取り組んでいく。	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		6,254	10,390
財源内訳	国・県支出金	491	535
	地方債		
	その他		0
	一般財源	5,763	9,855
歳入合計		6,254	10,390

課題	他市町村に比べ、移住に関する支援メニューが少ない中で、「松江市」を選んでもらえるプロモーションをどのように行っていくかが課題。就業支援コーディネーターによる、企業と就職希望者とのマッチングも積極的に行っていく。	方向性	今後も 県及びふるさと島根定住財団等と連携を深め、本事業や就業支援事業を継続的に実施する。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	UIターン促進事業
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	移住相談会（東京）		
	7月	移住イベント（大阪）		
	10月	移住イベント（東京）		

本事業に関する主要データ

しまね移住フェアin大阪(2023.7.15)



しまね移住フェアin東京（2023.11.19）



共創の状況	
-------	--

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	5,772		
職員手当等	1,648		
共済費	1,392		
旅費	1,280		
役務費	172		
委託料	93		
使用料及び賃借料	33		
事業費計		10,390	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	テレワーク・デイズM A T S U E 事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域とのコミュニケーションを通じて関係人口を増やす「松江式ワーケーション」を、都市部の企業に訴求し、将来の移住・定住につなげる。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		松江式ワーケーションに参加した人数（人）	46	30	30	30
	目標（何を達成するのか）	利用企業者数（件）	78	88	98	124
	1）松江式ワーケーションに参加した人数30人（R11年度単年） 2）利用企業者数124社（R1～R11年度累計）※R1～R4年度：54社、R5～R11：70社					

事業概要	（数値目標の目標年度）
	項目名 松江式ワーケーションに参加した人数【4月～3月】：2029（R11）年度（単年）
	項目名 利用企業者数：2029（R11）年度（累計） ・快適なテレワーク環境や地域交流、ヘルスケアを取り入れた「松江式ワーケーション」の利用拡大を図るとともに、松江固有の魅力を体験していただく。

事業計画	R5実績見込		R6計画	R7計画
	「松江式ワーケーション」として、ストレスサイエンスや地域交流会を中心としたプログラムを提案し、24社46人を受入れ。試行的に親子ワーケーションを実施し、1組の親子（親1人、子供2人）に松江市の自然を体験いただいた。		引き続き、利用者の声やアンケート結果を反映するとともに、民間の創意工夫を活かしてプログラムのブラッシュアップを行い、「松江式ワーケーション」の固有の魅力をPRすることで都市圏の企業および個人に訴求し、利用拡大を図る。	引き続き、利用者の声やアンケート結果を反映するとともに、民間の創意工夫を活かしてプログラムのブラッシュアップを行い、「松江式ワーケーション」の固有の魅力をPRすることで都市圏の企業および個人に訴求し、利用拡大を図る。
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		4,374	4,575
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		0
	一般財源	4,374	4,575
歳入合計		4,374	4,575

課題	・本市プログラムの特徴である、ストレスサイエンスやコミュニケーション（地域交流）については、都市部企業に高評価を得ているが、さらに、民間の創意工夫を活用したパッケージ商品として質の向上を図り、都市圏の企業および個人へ固有の魅力をPRする。	方向性	ワーケーション利用者と地元企業あるいは地域課題を抱える地域代表者との継続的な関係性を構築することで、関係人口の増加とともに将来の移住・企業誘致に繋げていく。

産業経済部定住企業立地推進課 テレワーク・デイズM A T S U E 事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	テレワーク・デイズMATSUE事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	ワーケーション受入		

本事業に関する主要データ	
【これまでの主な取り組みの成果】	
①富士通株式会社とのワーケーションパートナーシップ協定の締結 ・富士通グループの社員8万人に対して、松江式ワーケーションの周知が図れた。 ・モニターツアー（R4.10、R5.11）を実施し、参加者からプログラムのブラッシュアップに向けたフィードバックをいただいた。	
②都市部企業と市内企業がビジネスマッチングにより、新規サービス開発について協業	
③地域交流会での地域課題共有がきっかけとなり、新規コワーキングスペースが開設	
④ワークショッッププログラムの中で高校生の探究学習を支援	

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	150		
委託料	4,425		
事業費計		4,575	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	地域おこし協力隊事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域資源を活用し、磨きをかけて収益事業を創り、雇用の場を拡大して、地域の活性化を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		地域おこし協力隊定着率(%)	86	80	80	80
	目標（何を達成するのか）	中核CN、協力隊員の定着（人）	19	20	22	32
	・人口維持、地域の産業維持・活性化、地域振興。 ・任期後は、松江市で起業・就業し、定住につなげる。 ・中核CN、協力隊員の定着、拡大・創出した地域ビジネス数の目標値は、R11年度末の目標値	拡大・創出した地域ビジネス数（累計、件）	19	21	24	36

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 地域おこし協力隊定着率【任期終了後定住した隊員数/受入隊員数】：2029（R11）年度 松江の優れた地域資源を、それにかかわる地域の団体・企業等と共創・協働の精神により、一緒になって掘り起し、磨きあげ、収益の拡大や新たなビジネス・雇用の場を創出し、地域の元気につなげる。 [地域おこし協力隊の活動] ・各隊員がそれぞれの知識・経験・能力を発揮し、チームとして相乗効果を発揮する。 ・地域の生産拠点を活かし、地域の団体等と協働して収益増、起業、雇用の場を創出する。 ・地域資源を使った商品やサービスの再生・開発・加工・流通・販売により、地域経済の好循環を図る。 ・3年の任期を終えた後は、松江市で起業・就業し、定住につなげる。
------	--

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	・これまで同様、地域と協働した取り組みを進めると同時に、退任した隊員の行うビジネスとの連携等も図りながら、より発展的な事業を行っていく。 ・次年度の採用に向けた活動を行う。 ・地域おこし協力隊の活動を直接市民向けにPRする機会・場を設けることで協力隊のファンや協力者を増やし、スムーズかつ効果的な活動に繋げる。 ・6期生は、自身の起業・独立を見据えた実践的な取り組みを行い、退任後の定着につなげる。	・これまで同様、地域と協働した取り組みを進めると同時に、退任した隊員の行うビジネスとの連携等も図りながら、より発展的な事業を行っていく。	・これまで同様、地域と協働した取り組みを進めると同時に、退任した隊員の行うビジネスとの連携等も図りながら、より発展的な事業を行っていく。
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		44,508	52,765
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	388	756
	一般財源	44,120	52,009
歳入合計		44,508	52,765

課題	・活動終了後を具体的に見据えた事業の推進が求められ、それに向けた伴走型の支援が必要	方向性	・本市の地域おこし協力隊の活動内容や特徴、成果、サポート体制が見える化し、移住マッチングサイト等を活用して広く情報発信することで、採用活動の強化を図る。 ・現役の隊員に向けては、起業・創業に向けた研修体制の充実を図り、定住につなげる。 ・任期満了を迎え卒業した隊員についても、引き続き関わりながら、必要に応じて支援を行う。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	地域おこし協力隊事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	21,933	委託料	1,835
職員手当等	4,893	使用料及び賃借料	7,939
共済費	4,811	負担金補助及び交付金	4,720
報償費	117		
旅費	3,462		
需用費	1,768		
役務費	1,287		
事業費計		52,765	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	ふるさとづくり寄附事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市の魅力あるふるさとづくりに資する事業に対して寄附金を募り、これを財源として活用するとともに、ふるさと納税返礼品等を通じて松江市の魅力を全国に発信する。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		ふるさと納税寄附者数【4月～3月】（人）	14,550	17,307	17,307	17,307
		寄附金額（千円）	360,000	500,000	500,000	500,000
	目標（何を達成するのか） ・関係人口の創出を図るため、寄附者数の増加を目指す。 ・財源の確保を図るため、寄附金額の増加を目指す。 ・特産品の情報発信を図るため、返礼品数の増加を目指す。	返礼品数（品）	693	800	800	800

事業概要	（数値目標の目標年度） ふるさと納税寄附者数【4月～3月】（人）：2029（R11）年度 寄附金額（千円）：2029（R11）年度 返礼品数（品）：2029（R11）年度
	『ふるさと納税』と呼ばれる寄附金税制を取り扱う事業で、「松江市ふるさとづくり寄附条例」に基づき取り組んでいる。この税制では、個人が自治体に寄附した場合、2千円を除いた金額が税金から控除される。市では、観光や産業の振興、歴史文化の保全継承、魅力あるふるさとづくりなどの事業に寄附金を活用している。また、5千円以上の寄附者には事業者等と協力し、国の基準に基づく返礼品を進呈している。また、地方創生応援税制（『企業版ふるさと納税制度』）にも取り組んでおり、内閣府から認定を受けた市の事業に対して民間企業が寄附した場合、有利な控除を受けることができる制度であることから、民間活力を得ることで力強く地方創生を進めていく。

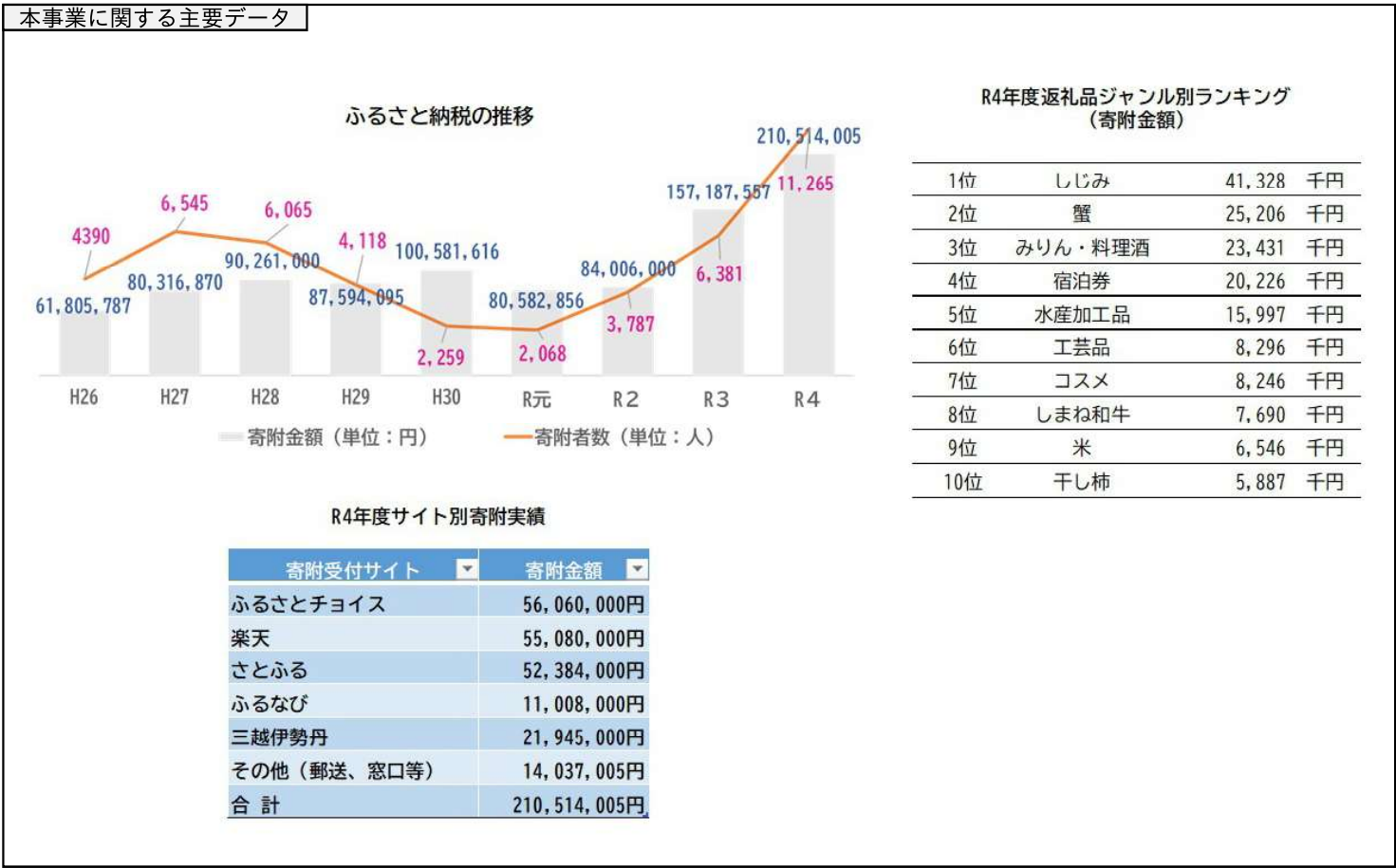
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	◆一休.comふるさと納税を追加。 ◆ぐるなびふるさと納税を追加。 ◆寄附者ニーズを分析することや、専門的知見を取り入れることで、魅力ある特産品の開発や発掘を行った。 ◆感謝動画（だんだん動画）の作成を行い、PR強化とリピーターの確保を図った。 ◆パンフレットやPR用チラシを各地の松江会や同窓会組織の会員、包括業務連携に関する協定を締結した事業者へ配布するとともに、メールマガジンを活用したPR強化を図った。	◆寄附者ニーズの高い返礼品を引き続き開拓するとともに、既存返礼品のブラッシュアップに取り組む。 ◆現地決済型のふるさと納税を導入し、寄附額の増加と地域経済の活性化の相乗効果を図る。 ◆クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、寄附の使い道に共感する新たな寄附者層の獲得を図る。	◆寄附者ニーズの高い返礼品を引き続き開拓するとともに、既存返礼品のブラッシュアップに取り組む。 ◆現地決済型のふるさと納税を導入し、寄附額の増加と地域経済の活性化の相乗効果を図る。 ◆クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、寄附の使い道に共感する新たな寄附者層の獲得を図る。
	《企業版ふるさと納税》 ◆企業版ふるさと納税マッチング支援サービスの活用。 マッチング実績：寄附件数3件、寄附金額16,000千円 ◆企業と自治体のオンラインマッチング会（6/19）	《企業版ふるさと納税》 ◆企業版ふるさと納税マッチング支援サービスの活用。 ◆企業と自治体のオンラインマッチング会への参加。	《企業版ふるさと納税》 ◆企業版ふるさと納税マッチング支援サービスの活用。 ◆企業と自治体のオンラインマッチング会への参加。
	達成度 1計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	162,471	251,760
	国・県支出金		
	地方債		
	その他	9,182	21,518
	一般財源	153,289	230,242
歳入合計		162,471	251,760

課題	●他地域にはない魅力ある返礼品の開発 ●全国の寄附者への返礼品等の情報発信 ●新規松江ファンの獲得及びリピーターの定着化 ●寄附者情報の分析や他自治体の優良事例などの情報収集 ●「企業版ふるさと納税」の市外企業への積極的な提案	方向性	○返礼品提供事業者等と連携し、他地域にはない魅力ある返礼品の開発に取り組む、返礼品内容を充実させ、寄附件数、寄附額単価の向上を図る。 ○庁内の関係部署や市内事業者と連携し、HPやSNS、メルマガ等を活用した情報発信力の強化。 ○返礼品の見直しやポータルサイトの追加といった取り組み強化の効果の検証や寄附者情報の分析を行うことで、サイトの特性に合った返礼品の掲載や返礼品提供事業者の利便性向上など今後の取り組みを強化。 ○内閣府が開催する企業版ふるさと納税マッチング会への参加や、令和4年度後半に導入した企業版ふるさと納税マッチング支援サービスの更なる活用。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	ふるさとづくり寄附事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	R6年度ふるさと納税の受付開始	通年	企業と自治体のマッチング会への参加
	通年	R6年度ふるさと納税返礼品の随時募集	通年	ふるさと納税のPR
	通年	魅力ある返礼品の開発		
	通年	企業版ふるさと納税のセールス		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,826	使用料及び賃借料	44
職員手当等	1,077	負担金補助及び交付金	140,000
共済費	623		
旅費	144		
需用費	1,330		
役務費	84,124		
委託料	21,592		
事業費計		251,760	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	出身学生とのつながりづくり創出事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	学生自身の松江への想いの醸成や自己実現をサポートすることで本市との関係性を深め、ファーストキャリアとしての松江市内就業や将来的な転職やテレワークによるUターンなど、松江市内への定着につなげる。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		イベント参加者数（人）	500	400	500	500
目標（何を達成するのか）						
(R11年度) イベント参加者数：500人(単年)						

事業概要	(数値目標の目標年度)
	項目名 イベント参加者数：2029（R11）年度 趣味やエンターテインメントを通じた「ゆるやかなつながり」と、地元で働く人や企業を知ることによって就職の際に松江を意識できるような「キャリアを意識したつながりづくり」を実施する。

事業計画	R5実績見込		R6計画	R7計画
	1. MATSUE TREASURE HUNTING FES（謎解きまちあるき） 2. スサノオマジックホームゲーム観戦イベント ×2回 3. MATSUE学生祭の開催支援 4. MATSUE学生祭に向けた協働プロジェクトの企画運営		・ 県外に進学した学生も参加できるように長期休みのタイミングでのイベントを企画する ・ 学生たちが市内の企業や働く人と交流する機会を設ける ・ MATSUE学生祭などの学生の主体的な活動への参加を働きかけるとともに、MATSUE学生祭の取り組みを引き続きサポートする	引き続き、学生が松江の企業や働く人と交流を持てるようなイベントを実施していく。
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5	R6
		決算見込	当初予算
事業費		6,695	7,000
財源 内訳	国・県支出金	5,015	5,205
	地方債		
	その他		0
	一般財源	1,680	1,795
	歳入合計	6,695	7,000

課題	・SNSが多様化しており、ターゲットとする学生たちへイベント情報を効果的に提供することが困難 ・高校と大学の年間スケジュールを加味した上でイベント実施日の設定に工夫と調整が必要	方向性	・県外の学校に通う学生も参加できるよう帰省時期に併せてイベントを設定する ・ゆるやかにつながるイベントに参加した学生が、市内企業や働く人と接点をもてる機会を提供する ・令和4年度のMATSUE学生祭では学生同士の口コミや主体的なSNS投稿によって700名の参加者が集まり、学生が主体的に企画、実施する力を目の当たりにした。引き続きMATSUE学生祭の企画段階から伴走し、地域や企業との接点づくりをサポートすることで地元の人との関係を強めることで地元志向を高める
----	---	-----	--

産業経済部定住企業立地推進課 出身学生とのつながりづくり創出事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	出身学生とのつながり創出事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4-3月	事業実施		
	4-3月	各イベントで参加者へのアンケート実施、分析		

本事業に関する主要データ

事業イメージ

松江市の既存事業

まつえIT就業体験プログラム
MATSUE起業エコシステム
Ruby City Matsueプロジェクト など

出身学生とのつながり創出事業

- 1) MATSUE学生寮実行委員会
- 2) 協働プロジェクト
- 3) 交流イベント
- 4) スサマジ観戦イベント
- 5) SNSによる情報発信

探究学習、キャリア教育 など

探究学習、キャリア教育 など

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	60		
委託料	6,940		
事業費計		7,000	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	郷土行事等振興事業費

事業の目的と目標	目的（何のために） ・ 伝統行事・伝統文化の保存継承	数値目標				
		項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		鑿行列参加団体数	16	17	20	20
	目標（何を達成するのか）	菊花展参加者数	82	50	50	50
	松江祭鑿行列・宵宮（前夜祭）の開催 菊花展の開催					

事業概要	◆松江祭鑿行列 1 0月の第3土日で、鑿保有町内及び鑿保有団体による宵宮（土曜日）、行列（日曜日）を開催（市内団体数31） 【令和6年度参加予定数】 宵 宮：1 1団体 鑿行列：1 7団体 ◆鑿まつり開催補助 令和4年度：団体6団体が参加 令和5年度：雨天により中止 ◆松江菊花展 1 0月中旬～1 1月初旬に文部科学大臣賞を最高位に松江城馬溜広場で開催
------	--

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	[鑿行列] 10/15（日） ・ 108回目の鑿行列を実施。 ・ 参加団体数：16団体（1,700人） ・ 観覧者数：85,000人 [宵宮（前夜祭）]10/14（土） ・ 松江市内の橋北・橋南の計2箇所で観光客や市民など鑿たたき体験を実施。 ・ 参加団体数：9団体 ・ 観覧者数：7,000人 [菊花展] 10/28（土）～11/15（水） ・ 松江城馬溜で菊の展示を実施。 ・ 応募者数：82（県内：75、県外：7） ・ 来場者数：71,000人 [鑿まつり] ・ 雨天のため中止 [鑿修繕] ・ 堅町、相生町、東片原町、石橋町一区の4地区を修繕予定。	[鑿行列] 10月第3日曜日 ・ 109回目の鑿行列を実施予定。 [宵宮（前夜祭）]行列の前日の土曜日 ・ 松江市内の橋北・橋南の計2箇所 で観光客や市民など鑿たたき体験を実施予定。 [菊花展] ・ 松江城馬溜で菊の展示を実施予定。 [鑿まつり] ・ 松江城大手前駐車場にて開催予定 [鑿修繕] ・ 希望があった地区を修繕予定。	[鑿行列] 10月第3日曜日 ・ 110回目の鑿行列を実施予定。 [宵宮（前夜祭）]行列の前日の土曜日 ・ 松江市内の橋北・橋南の計2箇所 で観光客や市民など鑿たたき体験を実施予定。 [菊花展] ・ 松江城馬溜で菊の展示を実施予定。 [鑿まつり] ・ 松江城大手前駐車場にて開催予定 [鑿修繕] ・ 希望があった地区を修繕予定。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		13,119	13,454
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	13,119	13,454
	歳入合計	13,119	13,454

課題	■鑿行列 ・ 各町内・団体とも、地域の人口減少に伴い、参加者数が減少している。特に子どもの参加者の確保が困難になっており、地域外からの参加や学校と連携した取り組みを検討する必要がある。 ■宵宮（前夜祭） ・ 集客を鑿行列にどのように活かしていくか検討が必要。 ■菊花展 ・ 会員の高齢化にともない、出品者数が減少している。また、出品者が固定化していることから、より幅広く募集をかける必要がある。 ・ 後継者の確保、育成。	方向性	■鑿行列 ・ 鑿行列保存会の後継者育成と参加団体数の確保、ならびに市民への普及と浸透を図る。 ■菊花展 ・ 市報、ケーブルテレビ、チラシ等の媒体を利用して、菊花展の開催及び作品募集のPRを事前に行う。
----	--	-----	---

文化スポーツ部文化振興課 郷土行事等振興事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	10月19日	松江祭鑿行列 宵宮		
	10月20日	松江祭鑿行列		
	11月初旬	松江菊花展		

本事業に関する主要データ								
●鑿行列					中止	中止		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
開催日	10/16	10/15	10/21	10/20	10/18	10/17	10/17	10/15
構成団体数	31	31	31	31	31	31	31	31
参加団体数	13	21	16	17	－	25	14	16
参加人数	1,410	2,266	1,736	1,970	－	－	1,005	1,700
観覧者数	80,000	50,000	80,000	85,000	－	－	90,000	85,000
●宵宮(前夜祭)					中止	中止		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
参加団体数	12	7	12	9	－	8	6	9
観覧者数	8,500	5,000	9,000	7,000	－	－	5,000	7,000
●鑿まつり(水燈路に合わせて鑿行列2週間前くらいに実施)					中止	中止		雨天中止
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
参加団体数	7	10	7	8	－	－	6	－
				※10/24 ～11/7 15日間	※10/26 ～11/8 14日間	※10/28 ～11/11 15日間	※10/29 ～11/13 16日間	※10/28 ～11/12 16日間
●菊花展								
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
出品者数	47	49	51	49	49	54	84	82
うち県内	39	40	42	42	41	48	78	75
うち県外	8	9	9	7	8	6	6	7
開催日数	17	16	14	15	14	15	16	16
来場者数	85,000	75,000	80,000	80,000	54,000	42,000	66,000	71,000
会員数	66	67	63	63	62	71	68	79

共創の状況	
-------	--

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	5,100		
委託料	7,400		
負担金補助及び交付金	954		
事業費計		13,454	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	郷土芸能継承発展経費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	本市の貴重な伝統芸能文化の継承、発展を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		指標になじまない				
	目標（何を達成するのか）					
	地域伝統芸能祭の開催や保存団体等の支援を通して、伝統芸能文化の継承の機運を高める。					

事業概要	【松江市伝統芸能文化保護育成協議会】 松江市の伝統芸能の保護育成を目的とする松江市伝統芸能文化保護育成協議会（２３団体）に対し補助を行う。 ■事業の目的：当協議会が行う伝統芸能等の啓発・発信にかかる取り組みや後継者の確保・育成に繋がる事業等に対し補助を行い、伝統芸能等に対する市民の理解を深めるとともに、これらの保存・継承を図る。 ■令和5年度事業内容：研修会・交流会
	【松江伝統芸能祭】 松江を代表する伝統芸能が一堂に会する「松江伝統芸能祭」を2年ぶりに開催する。 ■事業の目的：松江の文化力を生かしたまちづくり条例」で定める「松江の文化力を支える七つの柱」の一つ「地域に根づく伝統文化」の取り組みとして、以下の目的により開催するもの。 ①松江が誇る伝統文化を市民に「知って」もらい、「伝えて」いく機会とする。 ②松江市伝統芸能文化保護育成協議会の加盟団体等による「発表」の場とする。 ③次代を担う後継者や人材を「育てる」ための場とする。

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金（２３団体） ・保存団体への活動助成（４万円） ・情報提供（各種支援制度など） ・各団体のPRパンフレットの作成	○松江伝統芸能祭開催 ・出演団体：協議会加盟団体他6団体 ・会場：さんびる文化センタープラバホール ○松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金（２３団体） ・保存団体への活動助成（４万円） ・情報提供（各種支援制度など） ・研修会（講演会・交流会）の開催	○松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金（２３団体） ・保存団体への活動助成 ・情報提供（各種支援制度など） ・研修会（講演会・交流会）の開催
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		920	3,720
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		1,860
	一般財源	920	1,860
歳入合計		920	3,720

課題	・地域の人口減少や保存団体の高齢化などの影響により、後継者の確保や活動の継続が難しくなっている。	方向性	・継続して保存団体の支援を行うとともに、伝統芸能祭の開催や情報発信を通して、若い世代を含む多くの市民に伝統芸能文化の魅力に触れてもらい、継承、発展につなげていく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	伝統芸能文化保護育成協議会加盟団体への活動助成、情報提供		
	3月	松江伝統芸能祭		

本事業に関する主要データ	
■加盟団体：２３団体	
地域別：旧松江市１３、鹿島町２、島根町１、美保関町２、八束町１、八雲町１、宍道町１、東出雲町２	
- 正調関乃五本松節保存会 - 伝承ホーランエンヤ馬潟權伝馬保存会 - 平濱八幡宮トーレトーレ御神事 - 松江市琴行列保存会 - 佐陀神能保存会 - 魚瀬左吉兆とんど行事 - 秋鹿大日堂御頭行事保存会 - 亀尾神能保存会 - 伝承ホーランエンヤ矢田保存会 - 伝承大井ホーランエンヤ保存会 - 福富ホーランエンヤ保存会 - 大海崎伝承ホーランエンヤ保存会 - 神魂神社袴家神事 - 本庄町左義長しゃぎり保存会 - 八重垣神社身隠し神事 - 佐太神社古伝神事保存協会 - 美保神社神事保存会 - 熊野大社神事・八雲楽保存会 - 宍道町角道協会 - 島芝翫節保存会 - 揖夜神社奉賛会 - 陣幕会 - 島根町大漁節保存会	

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	3,720		
事業費計		3,720	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	スピーチコンテスト事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市を世界に紹介した文豪・小泉八雲の命日を記念して、八雲の作品を英語で暗唱するコンテストを開催することによって、青少年の英語の表現力向上に資し、国際理解と親善に貢献することを目的とする。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		参加人数（人）	29	50	70	70
		県内参加人数（人）	19	30	50	50
	目標（何を達成するのか） ・小泉八雲作品の普及 ・青少年の英語表現力の向上	参加校（校）	20	25	35	35

事業概要	「ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト」は、小泉八雲（ヘルン、ラフカディオ・ハーン）が文筆を通じて日本や松江を世界に紹介した功績をたたえ、作品を英語で暗唱することによって、青少年の英語表現力や国際性を高めることを目的に、年に1回、八雲の命日9月26日前後に松江で開催している。コンテストには、駐日アイルランド大使を招待しており、松江とアイルランドの交流の機会にもなっている。 【開催概要※予定】イベント名：第58回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト 開催日：令和6年9月22日（日）会場：松江市総合文化センタープラバホール（予定）
------	--

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテストを開催。 会場：島根県民会館 日程：9月24日（日）9：30～18：00 参加資格：ジュニアの部、シニアの部 スピーチの内容：八雲の英文の作品（『改訂新・小泉八雲暗唱読本』）の暗唱発表。 参加者数 29人（ジュニアの部19人、シニアの部10人）	第58回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテストを開催。 会場：松江市総合文化センタープラバホール 日程：9月22日（日）9：30～18：00 参加資格：ジュニアの部、シニアの部 スピーチの内容：八雲の英文の作品（『改訂新・小泉八雲暗唱読本』）の暗唱発表。 参加者予定数 50人（ジュニアの部30人、シニアの部20人）	第59回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテストを開催。 会場：未定 日程：未定 参加資格：ジュニアの部、シニアの部 スピーチの内容：八雲の英文の作品（『改訂新・小泉八雲暗唱読本』）の暗唱発表。 参加者予定数 50人（ジュニアの部30人、シニアの部20人）
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	1,621	1,117
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,621	1,117
歳入合計		1,621	1,117

課題	・青少年の国際交流と八雲の作品の普及のために、より一層の関心を持っていただけるよう、出場者だけでなく、観覧者の増加が必要 ・市内参加者数の増加	方向性	・教育委員会を通じて校長会等で各学校への参加協力依頼 ・SNS等を利用した情報発信の強化 ・参加者のレベルに応じて、部門を増やすことも検討が必要
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～8月	参加者募集		
	9月下旬	スピーチコンテスト開催		

本事業に関する主要データ							
年度	平成 28 年度 (第 50 回)	平成 29 年度 (第 51 回)	平成 30 年度 (第 52 回)	令和元年度 (第 53 回)	令和 2 年度 令和 3 年度	令和 4 年度 (第 56 回)	令和 5 年度 (第 57 回)
参加者数合計	76	62	54	45	中止	42	29
うち市内	31	27	20	21		13	13
うち市外	45	35	34	24		29	16
ジュニア	40	37	28	25		25	19
うち市内	18	16	10	12		7	6
うち市外	22	21	18	13		18	13
シニア	36	25	26	20		17	10
うち市内	13	11	10	9		6	7
うち市外	23	14	16	11		11	3

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	112		
役務費	42		
委託料	963		
事業費計		1,117	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	子ども塾スーパーへるんさん講座事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江ゆかりの文学者である小泉八雲の顕彰を図るとともに、主として八雲の感性を通じて松江や日本文化を再発見する機会とするもの	項目（成果指標） 実施校数（校）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
			1	1	1	1
	目標（何を達成するのか）					
	スーパーへるんさん講座を受講した子供達の豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深める。					

事業概要	小学生を対象に、松江ゆかりの文学者である小泉八雲について学ぶ場を提供することにより小泉八雲の顕彰を図るとともに、主として小泉八雲の感性を通じて松江や日本文化を再発見する機会とするもの。 平成16年度から平成28年度は松江市内の小学4年生から中学3年生までを対象に、参加者を公募し、夏休みに実施していたが、平成29年度からは小学校と連携して実施するスタイルに変更した。 【実績】平成29年度 内中原小学校（4年生）平成30年度 中央小学校（4年生） 令和元年度 中央小学校（4年生） 令和2年度 古江小学校（4年生）、来待小学校（6年生）、揖屋小学校（4年生）、竹矢小学校（4年生） 令和3年度～令和5年度 古江小学校（4年生）
------	--

事業計画	R5実績見込		R6計画		R7計画	
	松江市内の1つの小学校において、小泉八雲ゆかりの体験学習等として実施した。 【実施校】古江小学校（4年生） 【内容】講義、五感を使った活動、まちあるき		松江市内の1つの小学校において、小泉八雲ゆかりの体験学習等として実施する。 【実施校】古江小学校（4年生） 【内容】講義、五感を使った活動、まちあるき		松江市内の1つの小学校において、小泉八雲ゆかりの体験学習等として実施する。 【実施校】未定 【内容】講義、五感を使った活動、まちあるき	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	193	296
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	193	296
歳入合計		193	296

課題	希望する学校が固定化しており、学習機会を得る対象に広がりがない状況。	方向性	教育委員会と連携し、これまで参加してこなかった学校にも参加を呼び掛ける。
----	------------------------------------	-----	--------------------------------------

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～7月	実施予定校と協議、準備		
	7月～11月	子ども塾開催		

本事業に関する主要データ							
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加者数	121人	58人	60人	167人	50人	38人	42人
参加校	1校	1校	1校	4校	1校	1校	1校

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	14		
需用費	10		
役務費	1		
使用料及び賃借料	271		
事業費計		296	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	作品普及事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の功績をたたえ、その作品を対象とする感想文・詩の募集を行うことにより、八雲の作品の読書をすすめ、豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深めることを目的とする。	項目（成果指標） 応募作品数	R5実績見込 51	R6計画 100	R7計画 130	目標値 130
	目標（何を達成するのか）	松江市内応募作品数				
	「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施し、小泉八雲作品の普及および読書の推進をはかり豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深める。					

事業概要	小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の功績をたたえ、その作品を対象とする感想文・詩の募集を行うことにより、八雲の作品の読書をすすめ、豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深める。
------	--

事業計画	R5実績見込		R6計画		R7計画	
	小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施する。 （感想文第38回、詩第35回） 応募予定数51作品（感想文29作品、詩22作品）		小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施する。 （感想文第39回、詩第36回） 応募予定数100作品（感想文60作品、詩40作品）		小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施する。 （感想文第40回、詩第37回） 応募予定数130作品（感想文80作品、詩50作品）	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		290	292
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	290	292
歳入合計		290	292

課題	・市内応募者の割合が少ない（R2：179名中5名、R3：135名中4名、R4：73名中2名、R5：51名中2名）	方向性	・教育委員会との連携強化 ・SNS等を使用した情報発信強化

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月～1月	作品募集		
	2月	作品審査		
	3月	表彰式開催		

本事業に関する主要データ											
年度	感想文				小計	（作詞・）詩				小計	合計
	小学生	中学生	高校生	一 般		小学生	中学生	高校生	一 般		
R 5	1 (1)	0	9	19 (1)	29 (2)	0	1	0	21	22	51 (2)
R 4	5 (1)	5	12	23	45 (1)	0	0	0	28 (1)	28 (1)	73 (2)
R 3	4 (1)	4	26	50 (2)	84 (3)	0	0	1	50 (1)	51 (1)	135 (4)
R 2	27 (4)	9	25	66 (1)	127 (5)	1	0	1	50	52	179 (5)
R 1	2	1	32 (1)	61 (2)	96 (3)	2	1	0	38	41	137 (3)
H30	19 (1)	6 (2)	11 (7)	29 (2)	65 (12)	0	1 (0)	2 (1)	26 (0)	29 (1)	94 (13)
※ （ ）内は松江市内											

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	35		
役務費	21		
委託料	236		
事業費計		292	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	茶の湯文化振興費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」・「松江市茶の湯条例」に基づき、茶の湯を通じた文化と産業の振興を図るとともに、将来へ発展的に継承し、「茶の湯のまち・松江」の実現を図る	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		「茶の湯の日」PR協力店舗数（店）	42	45	50	50
		「松江藩ちゃのゆの学校」受講者数（人）	82	150	150	150
	目標（何を達成するのか）					
	茶の湯文化に触れる機会の創出・拡充	茶の湯関連イベント参加者数（人）	1,443	1,600	1,600	1,600

事業概要	【茶の湯の日】 「松江市茶の湯条例（平成31年4月施行）」で制定した「茶の湯の日（4月24日）」に係る機運の醸成を図り、茶の湯文化の市民の理解及び茶の湯文化関係事業者の振興を図るとともに、「茶の湯のまち松江」の実現のため官民連携して実施するもの。 【松江藩ちゃのゆの学校】 主に茶道未経験者向けに「抹茶・お菓子のいただき方」「お点前のいろは」を教える出前講座「松江藩ちゃのゆの学校」を実施する。まずは茶の湯文化を体験し、松江の茶の湯文化の歴史や意義を理解してもらい、茶道各流派の後継者育成のきっかけづくりとするもの。 【茶の湯文化振興補助金】 「和菓子」「お茶」「食」といった切り口から茶の湯文化体験イベントやシンポジウムを実施する団体へ補助を行う。年間を通して気軽に茶の湯文化に触れることのできる企画を実施し、茶の湯文化を未来へと繋げる。 【松江城大茶会】 松江城大茶会は、日本三大茶会の一つとして、松江の秋の風物詩として定着している。大衆性を重視し、広く一般を含めた市民レベルの茶会として開催されており、「茶どころ松江」を市内外に発信することに多大な貢献をしている。また、県外からの誘客効果も大きく、観光振興にも寄与している。 【茶の湯文化説明パンフレット】パンフレットにおいて、松江の茶の湯文化や「茶の湯の日」に関する説明や菅田庵など松平不昧公ゆかりの茶室を紹介する。またパンフレットを手にとった人をLINE公式アカウントで開催するスタンプラリーに誘導することで、松江市内の茶処を周遊させる仕組みを構築する。
------	---

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	【茶の湯の日PR】 ・ポスター・のぼり掲示 ・茶の湯関連商品の特売 ・学校給食で抹茶特別メニュー（鱈の抹茶揚げ、タラの抹茶塩かけなど）を提供 【茶の湯の日イベント】 ＜4月22日、23日＞ 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 参加者：708人 ＜10月21日、22日＞ 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 参加者：735人 【松江藩茶の湯の学校】 5団体計82人が参加 【食文化シンポジウム】 開催日：3月5日 会場：菅田庵	内容調整中 【茶の湯の日PR】 ・ポスター・のぼり掲示 ・茶の湯関連商品の特売 ・学校給食で抹茶特別メニュー（鱈の抹茶揚げ、タラの抹茶塩かけなど）を提供 【茶の湯の日イベント】 ＜4月＞ 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 ＜10月＞ 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 【松江藩茶の湯の学校】 募集案内予定 【食文化シンポジウム】 会場：未定 日程：未定 【松江城大茶会】 日程：未定 会場：未定	【茶の湯の日PR】 ・ポスター・のぼり掲示 ・茶の湯関連商品の特売 ・学校給食で抹茶特別メニュー（鱈の抹茶揚げ、タラの抹茶塩かけなど）を提供 【茶の湯の日イベント】 ＜4月13日、14日＞ 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 ＜10月19日、20日＞ 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 【松江藩茶の湯の学校】 募集案内予定 【食文化シンポジウム】 会場：未定 日程：未定 【松江城大茶会】 日程：未定 会場：未定
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費			3,391
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		1,700
	一般財源	0	1,691
	歳入合計	0	3,391

課題	・次世代への茶の湯文化の継承 ・茶の湯文化に関係する事業者との連携	方向性	・和菓子店等と連携して「茶の湯の日」の取り組みを推進 ・SNS等を利用した情報発信の強化
----	--------------------------------------	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	茶の湯文化に関する情報発信、松江藩茶の湯の学校の開催		
	4月	茶の湯の日イベント（春）の開催		
	10月	茶の湯の日イベント（秋）、松江城大茶会の開催		
	1月	食文化シンポジウムの開催		

本事業に関する主要データ

■「茶の湯の日」PR 協力店舗

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
店舗数	61	56	62	45	47	42

■「茶の湯の日」市内給食提供数

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
提供数	1,617	170,000	194,000	20,100	20,000	18,000

■松江藩ちゃのゆの学校

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
参加者数	11	8	0	0	34	82

■茶の湯の日イベントの開催

	R1	R2	R3	R4	R5
参加者数	548	626	1,059	1,567	1,443

■食文化シンポジウムの開催

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
参加者数	150	200	30	中止	60	20

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	84		
旅費	67		
需用費	169		
役務費	11		
負担金補助及び交付金	3,060		
事業費計		3,391	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	文化力を生かしたまちづくり推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市民の暮らしの根底にあり、市民の誇りとなりうる力「松江の文化力」を次世代に受け継ぎ、住む人、訪れる人、誰もが心豊かになれるまちにしてい	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		成果指標になじまない				
	目標（何を達成するのか）					
	伝統文化芸術の振興を図り、松江の文化力を生かしたまちづくりを行う。					

事業概要	誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまちを目指して、令和3年3月に「松江の文化力を生かしたまちづくり条例（以下、「条例」という）」を制定するとともに、「松江市伝統文化芸術振興計画（以下、「振興計画」という。）」を策定し、令和4年3月には、「松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画（以下、「実施計画」という。）」を策定した。 条例において、松江市伝統文化芸術振興審議会（以下、「審議会」という）が振興計画の推進に関する施策や実施計画の評価・検証を行うこととなっている。 また、第1期実施計画が令和6年度をもって終了し、令和7年度から令和10年度の4年間にかけの第2期実施計画を、令和6年度中に策定することから、年に2回審議会を開催・運営する。
------	---

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○パンフレット等による条例や振興計画の周知 ○審議会の設置及び開催 ・第1回審議会：10月17日開催 ・第2回審議会：3月25日開催 ○「令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定	○パンフレット等による条例や振興計画の周知 ○審議会の設置及び開催 ・第1回審議会：9月下旬開催予定 ・第2回審議会：3月下旬開催予定 ○庁内連絡会議の開催 ○「松江市伝統文化芸術振興計画第2期実施計画」の策定	○パンフレット等による条例や振興計画の周知 ○審議会の設置及び開催 ・第1回審議会：9月下旬開催予定 ・第2回審議会：3月下旬開催予定 ○庁内連絡会議の開催 ○「令和8年度版松江市伝統文化芸術振興計画第2期実施計画」を策定
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	250	1,261
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		1,261
	一般財源	250	0
歳入合計		250	1,261

課題	条例制定や振興計画及び実施計画を多くの市民に周知する必要がある。 また、伝統文化芸術のどの分野においても後継者不足や次世代への継承など共通の課題がある。	方向性	松江の文化力を支える七つの柱について「知る」「育てる」「伝える」「創造する」「活用する」「支える」の六つの取組の視点を取り入れながら振興を図る。 伝統文化芸術の振興を効率的、効果的に取り組むため、関係部署や関係団体などとの連携を図る。
----	---	-----	--

文化スポーツ部文化振興課 文化力を生かしたまちづくり推進事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	9月	令和6年度第1回審議会		
	3月	令和6年度第2回審議会		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	363		
旅費	468		
需用費	10		
役務費	32		
委託料	388		
事業費計		1,261	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江城・史料調査課	地域の文化財調査・発信事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「誰もが松江の歴史文化を誇りに思い、こころ豊かになれるまち」実現のため	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		地域調査実施公民館区数（累計）	5	6	7	29
	目標（何を達成するのか）					
	「文化財保存活用地域計画」に基づき、公民館区ごとに地域住民とともに文化財調査を実施することにより、地域ごとの歴史的特徴を明らかにするとともにその魅力を発信する。					

事業概要	〔数値目標の目標年度〕 ・地域調査実施公民館区数（累計）：2032（R14）年度 地域に残る歴史史料（古文書等）を中心に、その所在や内容を調査し、実態把握と保存の措置をとる。調査の成果は公民館を中心とした地域と共有するとともに、松江市歴史叢書や歴史史料集の発刊、SNSやWeb講座、松江歴史館での展示等に反映する。 1）地域別文化財調査 ・古文書悉皆調査…松江地域の公民館区ごとに古文書調査を実施。悉皆的に所在を把握するとともに保存の措置を図る。 ・地域住民との連携…調査に当たっては地域の歴史に詳しい方や、子供たちからも情報を集めるなど協力を求める。 ・専門家の助言…近世・近現代をはじめとする文献史料や、絵図・地図、民俗文化財など各方面の専門家の協力を求める。 2）地域の文化財情報の発信 ・調査で得られた成果は地域と共有することとし、公民館での発表、各種刊行物やWeb講座等で積極的に発信する。 ・SNS等を通じて市域内外の若い世代や子供たちにも分かりやすい情報発信を行う。
------	--

事業計画	R5実績見込		R6計画		R7計画	
	・ 公民館区ごとの古文書所在確認調査（生馬・持田・朝酌・川津・秋鹿） →公民館展示・座談会等による成果発表（生馬） ・ 市内に存在する文書の調査・整理・目録作成。 ・ 歴史史料の解読作業、松江市歴史叢書17、松江市歴史史料集6・7等の発刊 ・ Web講座の開催、HPやSNSによる歴史・史料情報の発信		・ 公民館区ごとの古文書所在確認調査（朝酌・川津・秋鹿・東出雲） →公民館展示・座談会等による成果発表 ・ 市内に存在する文書の調査・整理・目録作成。 ・ 歴史史料の解読作業、松江市歴史叢書、松江市歴史史料集等の発刊 ・ Web講座の開催、HPやSNSによる歴史・史料情報の発信		・ 公民館区ごとの古文書所在確認調査（対象地区未定） ・ 市内に存在する文書の調査・整理・目録作成。 ・ 歴史史料の解読作業、松江市歴史叢書、松江市歴史史料集等の発刊 ・ Web講座の開催、HPやSNSによる歴史・史料情報の発信	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		9,272	9,683
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	741	5,358
	一般財源	8,531	4,325
歳入合計		9,272	9,683

課題	・地域に残る歴史史料の調査と保存の措置、研究と活用が求められている。	方向性	・史料の所在確認調査を行い、保存措置を施し、貴重な史料の散逸を防ぐ。 ・史料調査と研究の成果を刊行物の発刊や講座の開催等を通して地域と共有し、市民の地域に対する誇りと愛着を醸成する。
----	------------------------------------	-----	--

文化スポーツ部松江城・史料調査課 地域の文化財調査・発信事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	年間	地域別文化財調査	随時	Web講座配信
	～8月	歴史叢書原稿執筆		
	3月	歴史叢書・歴史史料集発刊		
	随時	古文書写真撮影		



令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	松江の文化力次世代育成・継承事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「松江の文化力」を再認識し、未来を担う子供たちはもとより、世代を超えて誰もが心豊かになれるまちを実現するために実施するもの。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		講座・教室、イベント実施件数（件）	12	24	24	24
	目標（何を達成するのか）	講座・教室、イベント参加者数（人）	390	500	500	500
	松江の文化力への関心を高め、郷土愛の醸成を育むべく、体験機会の充実・情報発信の強化を図り、次世代育成や伝統文化・文化芸術の継承をめざす。	補助金の活用団体数（件）	5	10	10	10

事業概要	【松江の文化力体験推進事業】 子どもと保護者が松江の文化力を知り、体験する機会を創出する ○伝統文化や文化芸術の講座・体験教室 子どもと保護者を対象に七つの柱にちなんだ講座や体験教室を開催する。 ○伝統文化や文化芸術を体験できるイベント 既存イベントに合わせて文化体験ができる機会を提供する。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 地域の伝統行事の保存・継承を支援する ・上限額：1団体あたり5万円
------	--

事業計画	R5実績見込		R6計画		R7計画	
	【松江の文化力体験推進事業】 ○伝統文化や文化芸術の講座や体験教室 ・開催数：8件 ・参加者数：292人 （「重要文化財菅田庵と本格お抹茶体験」、「出雲弁で出雲そば体験！」など） ○伝統文化や文化芸術の体験イベント ・開催数：4件 ・参加者数：98人 （「重要文化財菅田庵と本格お抹茶体験」など） 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・交付数：5団体		【松江の文化力体験推進事業】 ・伝統文化や文化芸術の講座や体験教室、体験イベントを開催する 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・補助金を交付し、地域の伝統行事の保存・継承を支援する。 ・広く補助金について周知する。		【松江の文化力体験推進事業】 ・伝統文化や文化芸術の講座や体験教室、体験イベントを開催する 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・補助金を交付し、地域の伝統行事の保存・継承を支援する。 ・広く補助金について周知する。	
	達成度					
	2	計画目標に向かって概ね順調				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		4,490	4,763
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	4,490	4,763
	一般財源	0	0
歳入合計		4,490	4,763

課題	・子どもと保護者が興味関心を持って楽しく学び ・体験できるよう、講座や体験教室の内容等について検討する必要がある。 ・「地域に根づく伝統文化継承事業補助金」の申請数が少ない。	方向性	・子どもと保護者をメインターゲットとして市民に松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供することで、松江の文化力への関心を高め、郷土愛の醸成を育み、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 ・地域に根づく伝統行事の保存や継承の取り組みを支援し、伝統行事の継承を図る。
----	---	-----	---

文化スポーツ部文化振興課 松江の文化力次世代育成・継承事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	講座・体験教室の開催		
	通年	体験イベントの開催		
	通年	補助金の申請受付、交付		

本事業に関する主要データ

松江の文化力体験推進事業

Target

子どもと保護者

Goal

松江の文化って楽しい

①講座・体験教室
・「出雲弁で出雲そば体験」など七つの柱をテーマに講座や体験教室を開催する。
②体験イベント
・島根スサノオマジックホームゲームに併せて会場で和菓子体験教室を開催するなど、既存イベントに併せて伝統文化芸術を体験できる機会を提供する。

文化施設で

バスケットボール会場で

令和5年度実績

No	講座・体験教室の名称	参加者	その他
1	世界に一つ自分だけの抹茶茶碗づくり体験	57人	
2	はくちょう号から望む秋の夕陽と生演奏♪	32人	
3	お惣で楽しむ！和食の江戸	24人	
4	そば打ち体験＆出雲弁で紙芝居	26人	
5	親子で楽しむ八音塗り体験	10人	
6	重要文化財菅田庵と本格お抹茶体験	34人	
7	親子でワクワク弦楽器体験	81人	
8	親子で佐陀神能鑑賞体験	28人	
合計		292人	

No	体験イベントの名称	参加者	その他
1	親子でMy手持ち行燈づくり体験	45人	松江水燈路に併せて開催
2	親子で和菓子づくり体験	22人	島根スサノオマジックホームゲームに併せて開催
3	親子でいけばな体験	22人	市民文化祭に併せて開催
4	親子でちぎり絵体験	9人	#
合計		98人	

地域に根づく伝統文化継承事業補助金

Target

地域の伝統行事を担う団体など

Goal

伝統行事の 継承
後継者・担い手の 育成

①補助対象事業
・地域に根づく伝統文化が将来にわたって継承されていくよう、写真や動画として記録・保存する事業
・記録・保存のための伝統行事等の開催
（活用例）行事を撮影するための委託費、薬などの材料費など
②補助金の額
・1団体あたり5万円 ・補助率10/10

令和5年度実績

No	申請団体	申請額
1	野波区西組（ガッチ祭り）	50千円
2	髻宴会（髻行列）	50千円
3	長海町自治会（荒神祭など）	50千円
4	法田区自治会（荒神祭）	50千円
5	南平台とんど祭り実行委員会（とんど祭り）	28千円
合計		228千円

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	4,263		
負担金補助及び交付金	500		
事業費計			4,763

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部埋蔵文化財調査課	史跡田和山・神後田遺跡史跡等取得事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	史跡田和山・神後田遺跡の追加指定地について、遺跡の保護と将来への継承を円滑に行うため。	項目（成果指標） 土地取得累計面積（㎡）	R5実績見込 5,218	R6計画 6,000	R7計画	目標値 6,000
	目標（何を達成するのか）					
	史跡追加指定地の公有地化を行う。					

事業概要	史跡田和山・神後田遺跡の公有地化を行う。 R4年3月15日：史跡田和山遺跡の追加指定及び名称変更の告示 新規名称：史跡田和山・神後田遺跡 追加指定地面積8,140.36㎡（民有地7,959㎡、市有地181.36㎡） 追加指定地の民有地7,959㎡のうち、土地取得の同意が得られた6,000㎡の公有地化を行う。 R6年度は指定地のうち782㎡（公簿面積）を取得する。 事業費：20,465千円国補助（80％）：16,372千円 県補助（事業費-国補助残の1/3）：1,364千円 市債：2,400千円 市負担：329千円事業内容用地測量・補償物件調査・土地取得
------	--

事業計画	R5実績見込		R6計画		R7計画	
	追加指定地8,140.36㎡のうち土地取得の了解を得た民有地614.26㎡を取得した。		追加指定地8,140.36㎡のうち土地取得の了解を得た民有地782㎡を取得する。		一旦完了し、残り1,959㎡についても所有者の同意が得られ次第公有地化を行う。	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	7,346	20,465
	国・県支出金	6,365	17,736
	地方債	800	2,400
	その他		
	一般財源	181	329
歳入合計		7,346	20,465

課題	追加指定地には民有地が含まれ、遺跡の適切な保護・活用を将来行っていくことが困難である。	方向性	公有地化することにより、将来永劫の遺跡保存・幅広い活用が実現する。
----	---	-----	-----------------------------------

文化スポーツ部埋蔵文化財調査課 史跡田和山・神後田遺跡史跡等取得事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月	用地測量		
	7月	補償物件調査		
	12月	土地取得		

本事業に関する主要データ



史跡田和山・神後田遺跡史跡等取得事業
史跡面積 16,354.69㎡(田和山遺跡・神後田遺跡の合計面積)
追加指定面積 8,140.36㎡(神後田遺跡の指定面積) ※田和山遺跡の指定面積:16,173.33㎡

年度	取得面積(㎡)	事業費(千円)				備考	
		国費	県費	起債	単費		
R4	4,603.74	59,736	47,788	3,982	7,100	866	測量面積
R5(見込)	614.26	7,346	5,876	489	800	181	測量面積
R6(予定)	782	20,465	16,372	1,364	2,400	329	公簿面積
合 計	6,000.00	87,547	70,036	5,835	10,300	1,376	

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,374		
公有財産購入費	18,925		
補償補填及び賠償金	151		
公課費	15		
事業費計		20,465	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	伝統的建造物群保存地区検討事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	美保関町美保関の美保神社周辺に残る歴史的なまちなみの保存・活用を通して、住環境や景観の向上を図り、地区の生活や生業、伝統行事等を後世へ継承する。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		数値目標とすることに馴染まない。				
	目標（何を達成するのか）					
	重要伝統的建造物群保存地区の選定と補助制度導入による歴史を活かしたまちづくり					

事業概要	①伝統的建造物群は、文化財保護法により「周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いもの」とされる文化財である。市が伝統的建造物である建築物や工作物と共に、これと景観上密接な関係にある樹木、池、石垣等を特定し、これらを含む歴史的なまとまりをもつ地区を、「伝統的建造物群保存地区」（伝建地区）として決定し保存を図る。そののち、市から国へ申出をし、わが国にとって特に価値が高いと判断されると「重要伝統的建造物群保存地区」（重伝建地区）に選定され、地区内の建築物等の修理・修景、防災事業等の経費の補助を受けることができ、歴史的資源をいかしたまちづくりを行うことができる。 ②美保神社の周辺地区の歴史的なまちなみについて、国庫補助事業で実施した「保存対策調査」の成果をもとに、制度の導入と活用に向けた住民の合意形成を図る。
------	---

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	①自治会説明 6月17日 ②住民先進地視察 ・岡山県矢掛町矢掛宿 9月25日～26日 ・島根県大田市大森銀山 10月29日 ③成果報告会 令和6年2月4日 ④保存対策調査（2年目） 報告書作成 令和6年3月 ⑤住民組織運営 （まちなみ研究会 5月、6月、令和6年1月、3月） ⑥文化庁協議（随時） ⑦伝建だよりの発行 7月、11月、R6年3月	①保存条例制定 ②保存活用審議会設置・運営（保存地区の検討、保存活用計画の検討） ③自治会、住民説明会 ④住民組織運営 ⑤先進地視察 ⑥住民勉強会 ⑦文化庁協議 ⑧伝建だよりの発行	①保存活用審議会運営（保存地区の検討、保存活用計画の検討） ②自治会、住民説明会 ③住民組織運営 ④住民勉強会 ⑤文化庁協議 ⑥伝建だよりの発行 ⑦国への重伝建選定申出
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

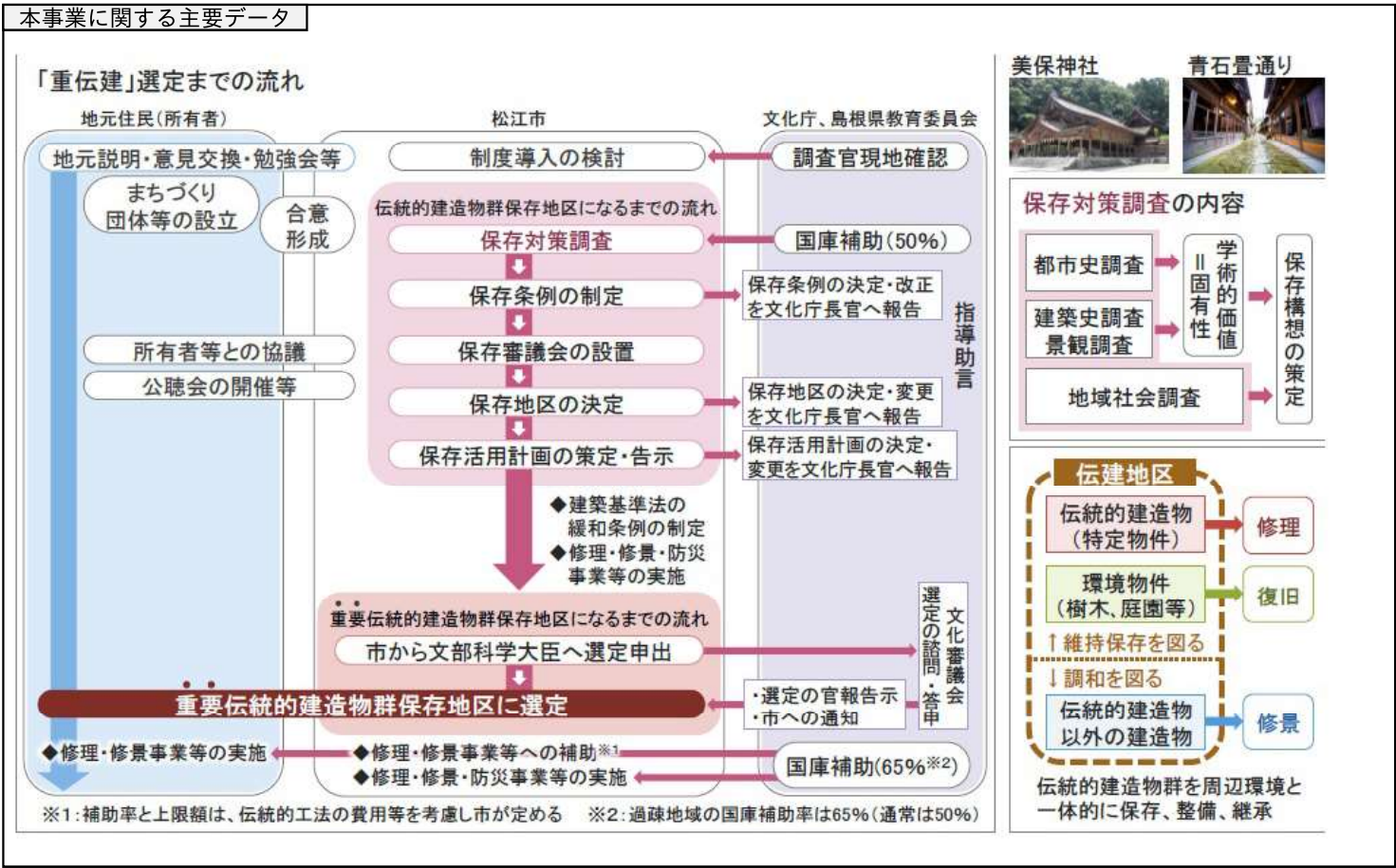
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費		1,149
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	1,149
歳入合計		0	1,149

課題	①住民のまちづくり議論による合意形成が最優先である。 ②重伝建地区では住民の権利制限が生じるため、修理等の保存活用基準を定める段階では住民の主體的参画と理解が必要である。 【制限】建造物等の現状変更に対する規制ほか 【支援】財政支援（建物修理や修景・防災事業等）、税制優遇（固定資産税等の減免）ほか	方向性	◆重伝建制度導入による生活環境向上、定住・交流人口確保、産業・伝統行事の継承などの効果を目指す。 【R6～7】保存条例制定、審議会設置、保存地区決定、保存活用計画策定、国へ重伝建地区選定の申出 【R8】国から重伝建地区選定、事業着手、防災計画の検討
----	---	-----	---

文化スポーツ部文化財課 伝統的建造物群保存地区検討事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	住民組織の運営支援（まちづくり）	9月	条例の制定
	5月	区長説明、住民勉強会	9月頃	中国四国ブロックまちなみ保存講演会参加
	6月	住民説明会、先進地視察①（津山市）	秋	先進地視察②（呉市）、住民勉強会
	年3～4回	伝建だよりの発行	R6年2月	保存審議会の開催



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	73		
報償費	42		
旅費	507		
需用費	20		
役務費	31		
使用料及び賃借料	476		
事業費計		1,149	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	国際文化観光都市・松江・森の演劇祭事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	子どもから高齢者まで様々な人たちが、世界の多様で創造的な表現に触れ、演劇の楽しさや感動を味わうことで豊かな暮らしのつなげるとともに、演劇を通じた文化振興・地域づくりを推進する。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		観客数（人）			5,000	5,000
	目標（何を達成するのか）	来場者数（人）			13,000	13,000
	国内外の多様で創造的な演劇作品に触れる機会を提供することで、「まちそのものがアート」を実感していただく。					

事業概要	目標値の達成年度：令和7年度 令和7年度に開催予定の「第8回松江・森の演劇祭」の開催準備事業を支援するもの。 ■松江・森の演劇祭とは 八雲林間劇場（しいの実シアター）を中心に、平成14年から国内外の劇団を招いて開催される国際演劇祭。概ね3年ごとに開催。演劇のほか、マルシェも開催され、賑わいを創出する。
------	--

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	第8回松江・森の演劇祭開催準備事業補助金を交付した。 【交付先】 松江・森の演劇祭実行委員会	第8回松江・森の演劇祭開催準備事業補助金を交付する。 【交付先】 松江・森の演劇祭実行委員会	第8回松江・森の演劇祭開催準備事業補助金を交付する。（実施年） 【交付先】 松江・森の演劇祭実行委員会
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		5,000	2,500
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		2,500
	一般財源	5,000	0
歳入合計		5,000	2,500

課題	■令和4年度は文化庁の補助金が不採択となっており、松江市補助金以外の財源を確保する必要がある。	方向性	■財源確保のため、国や民間の補助金申請やクラウドファンディングなどを支援する。 ■より多くの方に演劇祭を知っていただき、来場していただくため、情報発信を強化する。
----	---	-----	--

文化スポーツ部文化振興課 国際文化観光都市・松江・森の演劇祭事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金交付		
	3月	補助事業完了		

本事業に関する主要データ				
	第4回（H22）	第5回（H26）	第6回（H29）	第7回（R4）
期間	11/3～7	10/30～11/3	11/2～5	11/5～13
観客数	4,267人	5,040人	5156人	2,775人
来場者数	10,955人	13,262人	12,486人	8,222人
公演数	6か国11団体14公演	6か国11団体14公演	6か国14団体15公演	4か国10団体11公演
※第7回を令和2年に開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、2年延期とした。				

共創の状況	
-------	--

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,500		
事業費計		2,500	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	わがまち自慢発掘プロジェクト事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域の歴史文化を伝え残していきたい大切な遺跡などの“お宝”を地図に表現し、広く市民や観光客に紹介することで、地域の歴史文化に対する関心や地域への愛着心を醸成する。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		歴史まち歩き参加者数（年間／人）	198	240	240	400
	目標（何を達成するのか）	まち歩きを開催する公民館数（年間／件）	8	5	6	10
	まち歩きに参加し、地域の歴史文化に関心を持つ人やまち歩きマップを活用し、まち歩きイベントを実施している公民館数を増加させる。					

事業概要	①公民館区毎に作成した地域の“お宝”を掲載する「まち歩きマップ」について、継続して地区活動や市民参加型活動に活用できるように、マップの増刷を支援する。（実施主体は公民館区域ごとのプロジェクトチーム：市は補助金を支出）
	②マップを活用した歴史まち歩き事業を市と地域が共同で開催する。 住民主体の運営・参加によるマイクロツーリズムの展開を目指す。
	（数値目標の目標年度）R11（2029）年度

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	①「まち歩きマップ」増刷補助 3公民館（白潟、生馬、古江） ②「歴史のまち歩き」 公民館数：8件（大庭、本庄、 法吉、乃木、大野、 央道、城北、白潟） 参加者数：198人	①「まち歩きマップ」増刷補助 3公民館（東出雲、他2地区） ②「歴史のまち歩き」 公民館数：5件（八束、大庭、東出雲、玉湯、竹矢） 参加者数：240人	①「まち歩きマップ」増刷補助 3公民館 ②「歴史のまち歩き」 公民館数：6件 参加者数：240人
	達成度		
	2	計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	1,100	1,130
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		192
	一般財源	1,100	938
歳入合計		1,100	1,130

課題	①まち歩きイベントの参加者の割合は高齢者が多いが、広い世代の参加につながる企画と周知が必要である。 ②申込者にはリピーターが増えているが、新規参加者の獲得も必要である。 ③地元ガイドの人件費や運営経費を捻出するため、参加料を徴収するなど財源を確保する必要がある。	方向性	①歴史・文化的な資源に加え、地域の観光資源や特産品なども活用し、まち歩きイベントの内容の充実を図る。 ②より多く人が興味を持てるようにわかりやすく、おもしろいまち歩きのテーマやコースを考える。 ③参加者アンケートに基づいて適正な参加料を設定するとともに、サービスの質を高める。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	①「まち歩きマップ」増刷補助		
	4月～3月	②「歴史のまち歩き」		

本事業に関する主要データ

歴史のまち歩き事業の実績及び参加者（人）

	R4	R5														
	忌部	大野	鹿島	大庭	美保関	八雲	計	大庭	本庄	法吉	乃木	大野	穴道	城北	白濁	計
参加者	25	37	37	38	39	38	214	20	20	19	35	15	40	17	32	198
申込者	38	45	53	63	64	50	313	36	43	38	41	25	49	55	44	331

歴史のまち歩き事業計画

	R6（予定）					
	八束	大庭	東出雲	玉湯	竹矢	計
参加者	15	40	20	20	20	115

「まち歩きマップ」増刷補助実績

	実施地区		
R4	穴道	法吉	鹿島
R5	白濁	生馬	古江
R6（予定）	東出雲	未定	未定

白濁まち歩きマップ

R5歴史のまち歩きチラシ

乃木地区のまち歩きの様子

穴道地区のまち歩きの様子

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	130		
需用費	10		
役務費	35		
委託料	44		
使用料及び賃借料	11		
負担金補助及び交付金	900		
事業費計		1,130	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部埋蔵文化財調査課	石垣修理事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市民の歴史学習の場として史跡松江城を整備するとともに、貴重な文化遺産として後世に保存・継承していく。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		数値目標とすることになじまない。				
	目標（何を達成するのか）					
	・崩落の危険性が高い石垣の修理を年次的に行い、石垣の保全を図る。 ・検討委員会を開催し史跡松江城の整備に反映させる。					

事業概要	史跡松江城の整備に関し、外部の各種専門家の意見を取り入れるため、史跡松江城整備検討委員会を開催する。 文化庁の指導により、松江城全体の整備基本計画を作成し、修理計画・修理方針を策定した後に石垣保存修理を実施する。それまでは、崩落防止措置（石垣崩落防止ネット・大型土嚢）で対応する。
------	---

事業計画	R5実績見込		R6計画	R7計画
	・月見櫓下石垣の保存修理工事が完了したため、保存修理工事報告書を作成する。 ・R6年度以降の整備事業等を史跡松江城整備検討委員会に諮る。		・R7年度以降の整備事業等を史跡松江城整備検討委員会に諮る。 ・史跡松江城整備検討委員会において、整備基本計画の途中経過を報告する。	・R8年度以降の整備事業等を史跡松江城整備検討委員会に諮る。 ・整備基本計画を史跡松江城整備検討委員会に諮る。
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費			188
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		0
	その他		
	一般財源	0	188
歳入合計		0	188

課題	・崩落の危険度の高い石垣を年次的に修理しているが、来場者の安全性の確保も考慮のうえ、修理箇所の優先度を見直す必要がある。 ・石垣修理を進めるに当たり、松江城全体の整備基本計画を策定するよう文化庁の指導を受けている。	方向性	文化庁や県からの指導を受けつつ、松江城の整備基本計画を策定し、修理計画・修理方針を策定した後に石垣保存修理工事を実施する。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	誇りと愛着を生む
	基本施策	自然環境・歴史・文化を生かしたまちづくりの推進
	主要施策	松江城の保存・活用・調査研究による魅力と価値の向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	2月	史跡松江城整備検討委員会		

本事業に関する主要データ



史跡松江城整備検討委員会（現地）



史跡松江城整備検討委員会（議事）

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	41		
旅費	144		
需用費	3		
事業費計		188	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	史跡松江藩主松平家墓所整備事業費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	史跡松江藩主松平家墓所は、樹木による遺構の毀損、建築物の老朽化、排水施設の機能不全などの課題を抱えている。文化財の本質的価値を将来に亘って望ましい状態で保存し、公開活用するための整備を行う。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		数値目標とすることに馴染まない。				
	目標（何を達成するのか）					
	・近世大名家墓所としての価値を保存するための復旧整備を行う。 ・文化財的価値が損なわれない範囲で公開活用の整備を行う。					

事業概要	【全体計画】 宗教法人月照寺が行う整備事業に対して、国・県とともに市として補助を行う。 ■整備基本計画（R2.3月策定）に基づく整備を行う。 ・文化財の本質的価値を保存するための整備（近世から残る建造物・構造物の保存修理、危険木の伐採、排水施設整備など） ・文化財を公開活用するための整備（環境整備、植生の整理、便益施設・サイン等の整備など） ■整備検討委員会を開催し、整備に関する指導を受ける。 ■事業期間：平成30年度～令和11年度（平成30年度、令和元年度は先行実施事業）、総事業費：491,203千円 ■令和5年度事業費：40,980千円（国補助：20,490千円、県補助6,830千円、市補助：6,830千円、所有者6,831千円） ■令和6年度事業費：83,194千円（国補助：41,597千円、県補助13,865千円、市補助：13,866千円、所有者13,866千円）
------	---

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	・参道修復工事（2ヵ年計画の1年目） ・初代廟門土塀保存修理工事→入札不調によりR6年度へ繰越 ・支障木伐採工事实施設計 ・初代廟所水路修復工事实施設計 ・石造物修復工事（寿蔵碑）実施設計（2ヵ年計画の1年目） ・整備検討委員会の開催	・初代廟門土塀保存修理工事（R5繰越事業） ・参道修復工事（2ヵ年計画の2年目） ・支障木伐採工事（2ヵ年計画の1年目） ・初代廟所水路修復工事 ・石造物修復工事（寿蔵碑）実施設計（2ヵ年計画の2年目） ・整備検討委員会の開催	・支障木伐採工事（2ヵ年計画の2年目） ・石造物修復工事（寿蔵碑） ・整備検討委員会の開催
	達成度		
	2	計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		5,290	13,866
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	5,290	13,866
歳入合計		5,290	13,866

課題	・史跡全体を整備するため長期間にわたる事業であり、所有者にとって多額の費用が大きな負担となっている。 ・所有者に国庫補助事業を施行するノウハウがないため、市からの支援が必要である。	方向性	・整備基本計画に則って事業が進められるよう、所有者を支援していく。 ・事業に必要な補助金を確保するため、引き続き国・県に対して要望していく。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月から3月	実施設計、工事		
	3月	整備検討委員会		

本事業に関する主要データ		
初代廟門土塀保存修理工事	参道修復工事	支障木伐採工事
		
向かって左側の土塀は倒壊、右側は奥に倒れかかっており支えがしてある	石敷の消失、割れがみられる	御霊屋南側の支障木、危険木の伐採を行う
初代廟所水路修復工事	石造物修復工事（寿蔵碑）実施設計	
		
水路が土に埋もれ水が流れにくい状態。U字溝の設置などにより排水能力を高める	石の割れや石碑の傾き等が見られるため、本格的な修理を行う	

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	13,866		
事業費計		13,866	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	重文木幡家住宅保存修理（第2期）事業費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	重要文化財木幡家住宅の指定建造物13棟は、経年劣化の進行が顕著となっている。第1期事業で修理した蔵3棟以外の建造物の保存修理を行い、その文化財価値を後世に確実に引き継ぐ。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		数値目標とすることに馴染まない。				
	目標（何を達成するのか）					
	近世から明治にかけての重要文化財建造物としての価値を保存し、将来へ引き継ぐ。文化財的価値を保つとともに、公開活用に向けて計画を策定していく。					

事業概要	【重文木幡家住宅保存修理（2期）事業費補助金】 重文木幡家住宅を構成する指定建造物13棟のうち、対象建造物（主屋・新座敷棟・飛雲閣・新奥座敷棟・奥座敷棟・湯殿・御成門・行啓門・資材蔵・裏門）について、所有者が実施する保存修理事業に対して、国・県とともに市として補助を行う。 ・事業期間：令和4年度～12年度　・総事業費：1,285,000千円（うち市負担64,250千円） ・令和5年度：95,500千円（市負担：4,775千円）・令和6年度：157,800千円（市負担7,890千円） ・令和7年度事業費：197,000千円（うち市負担：9,850千円）
------	--

事業計画	R5実績見込		R6計画		R7計画	
	【保存修理事業】 ・主屋：半解体修理 ・（附）湯殿：解体修理 ・（附）資材蔵：解体修理 ・（附）裏門：解体修理 ・（附）御成門：解体修理 ・（附）行啓門：解体修理 ・塀：解体修理：解体修理		・主屋：半解体修理 ・（附）湯殿：解体修理		・主屋：半解体修理 ・（附）湯殿：解体修理 ・新座敷：屋根葺き替え部分修理 ・飛雲閣：屋根葺き替え部分修理	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		4,775	7,890
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	4,775	7,890
歳入合計		4,775	7,890

課題	・第2期事業では10棟の建造物の修理が必要であり、所有者に多額の負担が生じる。 ・狭い敷地に複数の建物が密集して建っているため、修理方針の決定や修理工事に高度の知識や技術を要する。	方向性	・補助事業を確実に履行するために、修理委員会にてスムーズかつ適切な事業実施のための所有者のサポートを行う。 ・所有者の意向を各種計画に確実に反映させるために、国、県、市、設計監理業者間で密に連携をとり、保存活用計画の概要をまとめる。 ・事業に必要な補助金を確保するため、引き続き国・県に対して要望していく。
----	---	-----	---

文化スポーツ部文化財課 重文木幡家住宅保存修理（第2期）事業費補助金

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	主屋：半解体修理		
	4～3月	湯殿、資材蔵、裏門：解体修理		

本事業に関する主要データ

・対象建造物

主屋



新座敷



飛雲閣



行啓門、御成門解体後の様子



新奥座敷



奥座敷



湯殿



主屋解体中（屋根北側）



御成門



行啓門



裏門



主屋解体中（屋根南側）



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	7,890		
事業費計		7,890	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	歴史的建造物保全継承事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	歴史的なまちなみを形成している古い建造物（歴史的建造物）の滅失を防ぐために、所有者との協働により保全継承し活用することで、歴史的資源を生かしたまちづくりを進める。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		歴史的建造物登録累計数（件）	18	19	20	20
	目標（何を達成するのか）	2次調査数（件）	2	1	1	1
	歴史的建造物登録数 20件					

事業概要	①市内にある指定文化財以外の歴史的建造物のうち、「松江市歴史的風致維持向上計画」の重点区域である旧城下町エリア・美保関エリア・宍道エリアにあるもの及び国の登録有形文化財を対象として、保全継承し活用を図る。 ②建造物調査の結果をもとに、所有者の同意を得て、「松江市歴史的建造物保全活用審議会」で調査審議し登録を行う。 ③登録後、市と所有者で保全契約を締結し、所有者が行う外観保全等にかかる工事費の一部を補助する。 ④活用について、個々の建造物をまち歩きコースに設定するなど、面的に広げ、合わせてまち歩きガイドなどの人材育成を図る。 ⑤ヘリテージマネージャー（地域に眠る歴史文化遺産を発見し、保存し、活用して、地域づくりに活かす能力を持った人材）や関係団体との連携を強化する。 （数値目標の目標年度）令和11年度（2029年度）
------	---

事業計画	R5実績見込		R6計画		R7計画	
	①歴史的建造物の登録（1件） ②2次調査（2件） ③修繕工事補助（1件） ④審議会の開催（1回） ⑤歴史的建造物一斉公開・まち歩き（1回）		①歴史的建造物の登録（1件） ②2次調査（1件） ③修繕工事補助（2件） ④審議会の開催（1回） ⑤歴史的建造物一斉公開・まち歩き（2回）		①歴史的建造物の登録（1件） ②2次調査（1件） ③修繕工事補助（2件） ④審議会の開催（1回） ⑤歴史的建造物一斉公開・まち歩き（2回）	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		2,399	6,903
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		6,080
	一般財源	2,399	823
	歳入合計	2,399	6,903

課題	①歴史的建造物の空家化や除却により、良好なまちなみ景観が損なわれる状況があるため、引き続き所有者の理解を得て、登録及び保全継承を図っていく必要がある。 ②登録した歴史的建造物については、所有者による保全と有効な活用策を支援していく必要がある。 ③財源である「松江市歴史まちづくり基金」が枯渇した後の代替策を検討する必要がある。	方向性	①歴史的建造物の登録を進め、所有者に対する外観保全等の修繕費の補助を行うことで、良好なまちなみ環境を維持向上させる。 ②所有者とともに、歴史的建造物の活用を図り、歴史的資源を生かしたまちづくりを進める。 【活用事例】 ・歴史的建造物をめぐるまちあるき ・宿泊施設（一棟貸など） ・商業施設（飲食、物販など）
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	登録候補建造物の公募	2～3月	登録・保全契約締結
	4～3月	修繕工事（補助）	春と秋	歴史的建造物一斉公開イベント・まち歩き
	5～9月	2次調査（内部調査）	3月	登録プレート設置
	11～1月	歴史的建造物保全活用審議会開催（1回）		

本事業に関する主要データ

登録実績

(単位:件)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計
旧城下町エリア	3	2	2	2	-	2	-	-	11
美保関エリア	-	3	-	-	2	-	-	-	5
宍道エリア	-	-	-	-	-	-	-	-	0
登録有形文化財	-	-	1	-	-	-	-	1	2
合 計	3	5	3	2	2	2	0	1	18

調査実績

(単位:件)

	1次調査 (外観目視)	2次調査 (実測・写真撮影)
	H26~H28	H26~R5
旧城下町エリア	783	24
美保関エリア	88	17
宍道エリア	76	15
登録有形文化財	-	3
合 計	947	59

修繕補助金交付の推移

(松江市登録歴史的建造物保全継承事業補助金) R5以降は見込

(単位:千円)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
補助件数	0	1	3	3	2	1	0	1	2	2	2	1	1	1	1	1
補助金額(千円)	0	784	9,493	6,222	6,000	2,882	0	944	6,000	6,000	6,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000

【内容】登録歴史的建造物の外観保全等に係る工事費の補助

1件当り建造物 上限額3,000千円、工作物 上限額2,000千円 / 補助率3分の2

歴史まちづくり基金の推移

R5以降は見込

(単位:千円)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
基金現額	60,000	60,004	59,280	49,793	43,578	37,582	34,701	34,702	33,759	27,759	21,759	15,759	12,759	9,759	6,759	3,759
取崩し額(▲)	0	▲ 784	▲ 9,493	▲ 6,222	▲ 6,000	▲ 2,882	0	▲ 944	▲ 6,000	▲ 6,000	▲ 6,000	▲ 3,000	▲ 3,000	▲ 3,000	▲ 3,000	▲ 3,000
利子積立額	4	60	6	7	4	1	1	1								
基金残額	60,004	59,280	49,793	43,578	37,582	34,701	34,702	33,759	27,759	21,759	15,759	12,759	9,759	6,759	3,759	759

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	49		
報償費	37		
旅費	31		
需用費	3		
役務費	13		
委託料	770		
負担金補助及び交付金	6,000		
事業費計		6,903	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江城・史料調査課	文化財情報デジタル化推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市に残る豊富な文化財の情報に接する機会を広げて、文化財情報へのアクセスを容易にすることで、文化財への関心や理解を深めていく。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		文化財データベース導入累計箇所数（箇所）	2	3	4	6
	目標（何を達成するのか）	松江城天守登閣者数【4月～5月】（人）	355,000	460,000	470,000	500,000
	・文化財情報のデジタル化を推進する。 ・デジタル化した文化財情報の集約（一元化）を図る。	松江歴史館観覧者数【4月～5月】（人）	52,000	53,000	54,000	60,000

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 文化財データベースの導入箇所数：2027（R9） 項目名 松江城天守登閣者数：2029(R11)、項目名 松江歴史館観覧者数：2029(R11)
	○松江市に所在する豊富な文化財の情報をデータ化（デジタル化）するとともに、松江市の博物館、資料館、文化財所管部局で共通の文化財データベースシステムにデータを登録することで文化財情報を一元化して松江市版文化財デジタルアーカイブを構築する。 （※松江歴史館は既に収藏品データベースシステムを導入・運用している）
	○令和3年3月に連携協力協定を締結した同志社大学文化遺産情報科学調査研究センターと共同で、AR・VRなどのデジタル技術を活用した文化財情報の発信を行う。 1）松江城天守VRソフト作成・設置 ・松江城天守VRソフトを作成、設置し、天守登閣が難しい人にも登閣体験ができるバリアフリー環境の実現を図る。 2）文化財デジタル人財育成 ・発掘調査や、松江歴史館館蔵品のデジタル化を自ら進めることのできる職員育成を行う。

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○鹿島歴史民俗資料館への収藏品データベースシステムの導入 ○鹿島歴史民俗資料館等の文化財情報のデータ化 ○鹿島歴史民俗資料館の収藏品データベースへのデータ登録（無料ガイドアプリを用いた解説情報の発信も） ○松江歴史館での松江城天守VR体験の運用	○松江市指定文化財台帳のデータ化 ○松江市指定文化財台帳のデータベースシステムへの登録、 ○出雲玉作資料館収藏品のデータ化 ○松江歴史館での松江城天守VR体験の運用	○出雲玉作資料館のデータベースシステムの導入、データベースへのデータ登録 ○松江歴史館での松江城天守VR体験の運用
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	864	2,298
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	864	2,298
歳入合計		864	2,298

課題	○松江市に所在する豊富な文化財の情報を一元化して効果的に発信する環境整備が必要。 ○事業推進にあたっての市役所内部での体制整備が必要。	方向性	○一元化したデータベース（デジタルアーカイブ）を松江市のホームページ等で公開する。 ○文化財セクション横断的なチーム編成を行い、利用しやすいデジタルアーカイブの構築を図る。
----	--	-----	---

文化スポーツ部松江城・史料調査課 文化財情報デジタル化推進事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	文化財情報デジタル化推進事業
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5～10月頃	指定文化財台帳等のデジタル化	通年	玉作資料館収藏品のデータ化作業
	11月頃～	デジタル化情報のデータベース登録作業		
	随時	文化財のデジタル化（撮影等）作業		
	通年	松江歴史館での松江城天守VR体験実施		

文化財デジタルアーカイブ構築

松江市の豊富な文化財情報を集約し、幅広い人にその魅力を伝える仕組みとして、データベースや公開システムの構築を行う。各施設や分野ごとにデータベースを構築し、松江市版文化財デジタルアーカイブとして集約する。

※金枠部分が文化財デジタルアーカイブの構築部分（「松江市文化財保存活用地域計画」に掲げるデジタルアーカイブの実現を目指す）

※「ヒストリー」：調査研究で知りえた事実を使った松江の歴史文化の物語
※松江歴史館が利用するクラウド型データベースシステム「iB.MUSEUM SaaS」を採用

リアリティーのあるVRで
国宝松江城天守への登閣を疑似体験！

体験場所 松江歴史館 ライフサイー

対象 13歳以上 参加費 無料

体験日時 毎週金、土、日曜日
【期間】
令和4年8月12日（金）～11月27日（日）
【金曜日】13時30分～16時30分（※祝日の場合は土、日曜日に準ずる）
【土、日曜日】9時30分～12時、13時30分～16時30分

事前申込が必要です
※要予約
※予約料1人につき15分（※定員の枠を超え1回につき5分まで）
※予約時に空きがあれば事前申込なしでの当日参加も可能です

※同志社大学文化遺産情報科学調査研究センターと松江市との連携協定によりVR制作しました
お問い合わせ先 松江市文化スポーツ課
（予約について）
松江歴史館 1F TEL: https://www.mtsu-city.jp/ TEL: 0852-32-1007 松江城・史料調査課 TEL: 0852-45-6009

共創の状況	
-------	--

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	144		
旅費	399		
委託料	1,359		
使用料及び賃借料	396		
事業費計		2,298	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江城・史料調査課	国宝松江城調査研究事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「誰もが松江の歴史文化を誇りに思い、こころ豊かになれるまち」実現のため、けん引役として松江城の調査研究をより一層推進し、その価値を高め、成果を広く発信し、行政各分野の施策にも積極的に貢献していく。	項目（成果指標） 松江城天守登閣者数【4月～3月】（人）	R5実績見込 355,000	R6計画 460,000	R7計画 470,000	目標値 500,000
	目標（何を達成するのか）					
	・調査研究による新たな事実の解明による学術的価値の向上。 ・正確かつ最新の調査研究成果の発信による知名度の向上。 ・関係市・県・研究者との共同研究による世界文化遺産登録の実現。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 松江城登閣者数：2029(R11) 調査研究を通じて、松江城の学術的価値を高めるとともに、その成果を積極的に情報発信する。 1）調査研究事業 ・松江城調査研究委員会を中心に、天守のみならず、城郭、城下町全体の調査研究を行う。 2）世界遺産登録推進事業 ・松本市、犬山市で構成する近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会において、共同研究を行い、世界遺産登録推進を図る。 3）情報発信事業 ・シンポジウム・講演会の開催、研究成果を分かりやすくまとめた書籍の発行を通じて、最新かつ正確な情報発信を行う。

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○松江城調査研究委員会の開催 ○建築史部会、城郭史部会、絵図・地図・文献部会での調査研究 ○『松江城研究5』『松江城関係資料集5』『松江城ブックレット7』の発刊 ○ICOFORT研究会議・日中韓共同研究への協力 ○近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究 ○世界遺産講演会の開催	○松江城調査研究委員会の開催 ○建築史部会、城郭史部会、絵図・地図・文献部会での調査研究 ○『松江城研究6』『松江城ブックレット8』の発刊 ○ICOFORT研究会議・日中韓共同研究への協力 ○近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究	○松江城調査研究委員会の開催 ○建築史部会、城郭史部会、絵図・地図・文献部会での調査研究 ○『松江城研究7』『松江城関係資料集6』『松江城ブックレット9』の発刊 ○ICOFORT研究会議・日中韓共同研究への協力 ○近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		14,394	13,624
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	75	115
	一般財源	14,319	13,509
歳入合計		14,394	13,624

課題	○世界遺産登録を見据えた世界的見地からの調査・研究が求められる。 ○松江城に関する調査研究レベルの維持向上のための継続的な取組みが必要。 ○市民の機運醸成が求められる。	方向性	○国際会議の松江開催、外国語媒体の書籍刊行、海外専門家との共同研究などを通じて、調査研究に国際的な視点を取り込む。 ○基礎研究を継続的に実施し、その成果を広く発信し、観光など市政全般にも反映させる。 ○講座の開催など啓発活動に取り組む。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	国宝松江城調査研究事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	松江城調査研究委員会 専門部会での個別調査	10月	松江城調査研究委員会
	随時	各専門部会の開催	12月	世界遺産講演会
	5月	世界遺産登録推進会議準備会 総会	3月	各出版物刊行
	7月～2月	世界遺産登録推進会議準備会 専門家会議（WG）3回		

本事業に関する主要データ

松江城天守登閣者数

年度	登閣者数
H30年度	425,000
R1年度	445,000
R2年度	170,000
R3年度	175,000
R4年度	315,000
R5年度(見込)	380,000

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2～3年度は登閣者数が大幅に減少。

令和4年度は約7割、令和5年度は約8割と回復傾向にある。

松江城調査研究の成果発信に関する出版物

シリーズ名	概要
松江城研究	松江城調査研究委員会委員を中心とする松江城研究の成果報告
松江城ブックレット	松江城に関する専門的な内容を、各分野の専門家が分かりやすく叙述したブックレット
松江城関係資料集	松江城に関する基礎資料集 (松江城に関する調査研究の進展に寄与するもの)

松江城研究

松江城ブックレット

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,944	委託料	174
職員手当等	555	負担金補助及び交付金	3,563
共済費	463		
報償費	2,102		
旅費	2,267		
需用費	2,426		
役務費	130		
事業費計		13,624	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江歴史館	松江歴史館展示企画事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江の歴史・文化に関わる展覧会の開催などにより、松江の新たな魅力を発信することで、郷土愛の醸成を図る。	項目（成果指標） 松江歴史館観覧者数（人）	R5実績見込 47,000	R6計画 53,000	R7計画 54,000	目標値 60,000
	目標（何を達成するのか）					
	調査研究成果を活かした魅力ある展覧会の開催とともに観覧者数の増加を図る。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 松江歴史館観覧者数（人）：2029（R11）年度 60,000人
	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を年4回開催する。 このうち、特別展はその年度の最も規模の大きな展覧会である。 企画展では県外の普段見られない資料や地元の資料を中心に展示する。 また、年1回は館蔵品展を開催する。

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	〔特別展・企画展〕 ①企画展「出雲国の白隠・大雅・風外―往来する禅と書画―」 ②企画展「みんなの小学校 150年の歩み」 ③特別展「漆壺斎と勝軍木庵―花開く松江の漆文化―」 ④館蔵品展「明治時代のサムライたち―松江藩士の行く末―」	〔特別展・企画展開催予定〕 ①企画展「神々の美術―出雲の神像と神宝」 ②企画展「松江体育協会創立100周年記念 松江のスポーツ今昔」 ③特別展「月照寺と松平家の宝」 ④館蔵品展「松江藩を支えた家老 大橋茂右衛門」	年4回の特別展・企画展を開催予定
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		15,621	18,386
財源内訳	国・県支出金	2,848	3,618
	地方債		
	その他	10,793	14,768
	一般財源	1,980	0
歳入合計		15,621	18,386

課題	効果的な広報を実施し、より多くの方に展覧会を周知する必要がある。 また、興味を持ってもらえるような工夫が必要である。	方向性	チラシやポスターに加え、SNSを活用するなど効果的な広報を行う。また、松江城登閣者の松江歴史館への誘導策を検討する。 市民により一層関心を持ってもらえるように、調査・研究の成果をさらにわかりやすく展示をしていく。また、公開承認施設の利点を活かして、国宝・重要文化財をはじめとする貴重な資料を展示し、歴史や文化に対する関心を高めていく。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	松江歴史館展示企画事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～6月	企画展「神々の美術―出雲の神像と神宝」		
	7月～9月	企画展「松江体育協会創立100周年記念 松江のスポーツ今昔」		
	10月～12月	特別展「月照寺と松平家の宝」		
	1月～3月	館蔵品展「松江藩を支えた家老 大橋茂右衛門」		

本事業に関する主要データ

4.26（金）▶6.16（日）企画展

神々の美術―出雲の神像と神宝

出雲地方の数多くの文化財の中から神々の姿を表した神像と、神社に奉納された神宝を展示します。普段は公開されない国宝や重要文化財に指定された貴重な神像、神宝も展示します。



「御鎌町及内容品」(出雲大社蔵)

10.4（金）▶11.24（日）特別展

月照寺と松平家の宝

本展は、月照寺の開基 360 周年を記念して開催し、松江藩松平家の墓所としての様相や、松平不昧をはじめ歴代藩主ゆかりの宝物の数々を紹介します。



「松平不昧肖像画」(月照寺蔵)

7.12（金）▶9.16（月・祝）企画展

松江体育協会設立 100 年記念
松江のスポーツ今昔

松江体育協会設立 100 年を記念し、松江における江戸時代から現代までのスポーツについて取り上げます。「柔道」という名称を日本で初めて使った直信流柔道や近代松江のスポーツについて紹介します。



「直信流柔道中興所作」(個人蔵) 大正 4 年撮影

1.24（金）▶3.30（日）館蔵品展

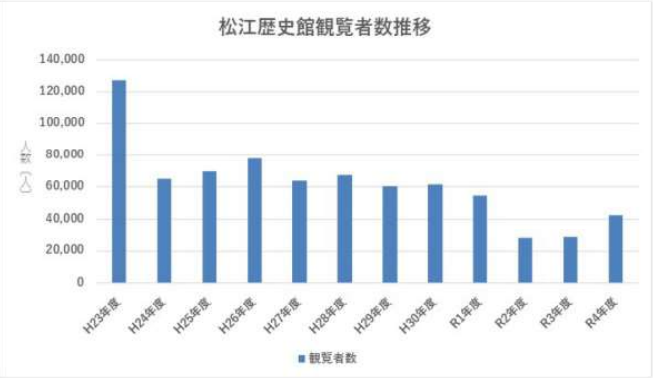
松江藩を支えた家老
大橋茂右衛門

大橋家は代々家老を務め、明治維新の難局も乗り越えました。本展では、大橋家旧蔵資料などを通じ筆頭家老として松江藩を支えた大橋茂右衛門を紹介します。



「備前二枚胴具足 備前形虎村」(当館蔵)

松江歴史館観覧者数推移



年度	観覧者数
H23年度	125,000
H24年度	65,000
H25年度	70,000
H26年度	78,000
H27年度	63,000
H28年度	67,000
H29年度	59,000
H30年度	61,000
R1年度	54,000
R2年度	30,000
R3年度	31,000
R4年度	42,000

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	460		
旅費	374		
需用費	619		
役務費	580		
委託料	16,343		
使用料及び賃借料	10		
事業費計		18,386	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	総合文化センターリニューアルオープン事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	リニューアルオープンする総合文化センターが文化芸術活動や学びの拠点として末永く市民に親しまれ、利用されるよう、多くの市民が来館し、生まれ変わった施設を体感する機会を創出するため。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		プラバホール施設利用者数（人）	5,527	100,000		120,000
	目標（何を達成するのか）					
	・これまで訪れる機会がなかった市民が来館する契機の創出 ・市民が主体的に文化芸術活動に参画したり、発表する場の創出					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 プラバホール施設利用者数：目標値120,000人については松江市総合計画における2029（R11）年度の目標 ※本事業はR5,6年度に実施するもの
	2年間にわたる大規模改修工事を経て新しく生まれ変わる総合文化センター（プラバホール）が、文化芸術活動や学びの拠点として、より多くの市民に親しまれ、利用されるよう、1年を通して様々な記念行事を開催し、リニューアルした施設の周知及び来館促進を図る。

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	・実行委員会を組織し、事業計画及び収支予算を決定したうえで、令和6年度の総合文化センターの全館リニューアルオープンを記念して開催する行事の準備を行った。 ※名称：松江市プラバホールリニューアルオープン事業実行委員会 委員数17名（構成：文化団体、利用団体、地域団体、民間事業者等） ・R5.6.8 第1回実行委員会 ・R6.2.9 第2回実行委員会	総合文化センターの全館リニューアルオープンを記念した事業の実施。	事業実施なし。
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	2,915	22,750
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		7,583
	一般財源	2,915	15,167
歳入合計		2,915	22,750

課題	観客の固定化や観客数の伸び悩みが課題となっている。 より多くの市民に来場してもらえるよう、魅力ある事業や、その周知方法を検討する必要がある。	方向性	1年を通して様々な記念行事を開催し、リニューアルした施設の周知及び来館促進を図る。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	文化芸術の拠点施設としてのプラバホール再整備

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	リニューアルオープン事業実施		

本事業に関する主要データ

R 6 年度プラバホール リニューアルオープン事業一覧

番号	事業名	実施予定日
①	オープニングセレモニー	4月7日（日）
②	市民創作音楽劇 「ヘルン・愛の軌跡」	4月7日（日）
③	おめでとうプラバホール ～みんなの音楽の日2024～	4月14日（日）
④	広島交響楽団 第31回島根定期演奏会	4月27日（土）
⑤	伝統行事・藝の体験広場	5月3日（金・祝）
⑥	めざましクラシックスin松江	6月9日（日）
⑦	Summer Holiday Organ Concert 2024 ～オルガンと7つの不思議なトビラ～	7月20日（土）
⑧	亀井聖矢リサイタルツアー2024	8月3日（土）
⑨	山本恭司×山陰フィルハーモニー管弦楽団コンサート	10月20日（日）
⑩	ミッシェル・ブヴァール オルガンリサイタル	11月16日（土）

プラバホール年度別施設利用者数

年度	利用者数
平成28年度	100,795
平成29年度	81,483
平成30年度	80,420
令和元年度	76,161
令和2年度	30,489
令和3年度	46,665

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	22,750		
事業費計		22,750	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	市民美術展開催事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	幅広く市民の美術への理解と関心を深めるとともに、発表、鑑賞の機会を確保し市民文化の向上を図る。	項目（成果指標） 来場者数（人）	R5実績見込 1,157	R6計画 1,800	R7計画 1,900	目標値 2,000
	目標（何を達成するのか）	一般公募出品数（点）	138	160	170	180
	市民が創作した芸術作品を募集し、市民美術展を開催する。					

事業概要	市民から広く美術作品を公募して美術展を開催することにより、幅広く市民の美術に対する理解と関心を深めるとともに、市民文化の向上を図る。 ◆日時：令和6年9月6日～9月9日 ◆部門：6部門（書、日本画、洋画、写真、工芸、デザイン（予定）） ◆会場：島根県立美術館 ◆主催：松江市民美術展実行委員会
------	--

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	■第51回市民美術展開催■ 会期：8月29日～9月4日 会場：島根県民会館 市民自ら制作した芸術作品を募集し、市民美術展を実施。 洋画、日本画、写真、書、工芸、デザインの6部門ごとに市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作を選考し、表彰した。 出品数：193点（うち一般公募作品：138点、招待作品55点） 来場者数：1,157人	■第52回市民美術展開催■ 市民自ら制作した芸術作品を募集し、市民美術展を実施。 洋画、日本画、写真、書、工芸、デザインの6部門ごとに市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作を選考し、表彰する。	■第53回市民美術展開催■ 市民自ら制作した芸術作品を募集し、市民美術展を実施。 洋画、日本画、写真、書、工芸、デザインの6部門ごとに市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作、ユース賞（仮称）を選考し、表彰する。
	達成度		
	1計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	2,293	2,398
	国・県支出金		
	地方債		
	その他	2,293	2,398
	一般財源	0	0
歳入合計		2,293	2,398

課題	・ 出品数、来場者が減少傾向にある。 ・ 出品者、来場者ともに若い方が少ない。 ・ 市美展がマンネリ化しているという意見が、来場者からある。	方向性	・ 高校、大学等の美術部への情報提供、出品呼びかけ ・ 初めての新設部門としてデザイン部門を設ける。 ・ 若者の参加を促すため、ユース賞（仮称）を新設する。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	作品募集		
	9月	市民美術展開催・表彰式		

本事業に関する主要データ							
開催年							
平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度							
来場者数		1,648	1,411	1,508	1,005	940	1,061
出品数		235	252	240	195	190	196
うち一般公募作品		161	184	168	132	131	140
うち招待作品		74	68	72	63	59	56
来場者数							
出品者数							

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	465		
委託料	1,933		
事業費計		2,398	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ課	市営体育施設改修費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市営スポーツ施設の安全性と利便性の向上を図り、スポーツを起点としたまちづくりを推進する。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		市営スポーツ施設年間利用者数（人）	1,209,881	1,300,000	1,300,000	1,300,000
	目標（何を達成するのか）					
	老朽化が進む市営体育施設の改修・修繕を行い、利用者の安全確保及び施設の利便性向上を図る。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 市営スポーツ施設年間利用者数：2029(R11)年度
	老朽化が進む市営体育施設について、利用者の安全確保及び施設の利便性向上を図るうえで、優先度の高い改修・修繕から順次実施する。

事業計画	R5実績見込		R6計画		R7計画	
	【主な事業】 ・鹿島総合体育館中央監視装置更新工事 ・八束体育館屋根改修工事 ・鹿島グラウンドゴルフ場駐車場整備工事 ・島根スポーツ広場フェンス改修工事		【主な事業】 ・秋鹿なぎさ公園照明LED化改修工事 ・島根スポーツ広場ABコートバックネット等改修工事 ・宍道体育センターバスケットゴール更新工事		優先度の高い改修・修繕を実施する。（調整中）	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		176,524	164,833
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	136,600	136,900
	その他	15,489	4,801
	一般財源	24,435	23,132
歳入合計		176,524	164,833

課題	老朽化が著しい施設が多く、施設の突発的な故障等への対応に苦慮している。	方向性	施設の改修・修繕については、指定管理者へのヒアリングや現地調査により、利用者の安全確保や施設の利便性向上に向け、優先度の高いものから順次実施する。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	体育施設整備事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	施設の稼働状況などを考慮し、順次実施する。		

本事業に関する主要データ

市営体育施設利用者数(人)

年度	利用者数
R2年度	771,111
R3年度	957,839
R4年度	1,078,102

市営体育施設利用者数(人)

年度	利用者数	前年度比較	主な前年度増減理由
R2	771,111	△ 427,329	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響による減
R3	957,839	186,728	新型コロナウイルス感染症に関連した施設の利用制限縮小による増
R4	1,078,102	120,263	新型コロナウイルス感染症に関連した施設の利用制限を行わなかったことによる増

種別ごとの市営体育施設数

屋内スポーツ			屋外スポーツ						
体育館	武道館	プール	野球	テニス	陸上	補助競技場	多目的広場	グラウンドゴルフ等	艇庫
14	2	2	8	8	1	1	15	3	2
56									

令和5年4月1日現在

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	6,745		
役務費	702		
委託料	12,223		
工事請負費	128,436		
備品購入費	16,727		
事業費計		164,833	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ課	松江総合運動公園再整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市営スポーツ施設の安全性と利便性の向上を図り、スポーツを起点としたまちづくりを推進する。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		市営スポーツ施設年間利用者数（人）	1,209,881	1,300,000	1,300,000	1,300,000
	目標（何を達成するのか）	総合運動公園体育施設年間利用者数(人)※	205,000	280,000	280,000	280,000
	整備から約40年が経過し、施設の老朽化が進んでいる松江総合運動公園のスポーツ施設について、安全性と利便性の向上を図るために再整備を行う。					

事業概要	（数値目標の目標年度）
	項目名 市営スポーツ施設年間利用者数：2029(R11)年度
	項目名 総合運動公園体育施設年間利用者数：2029(R11)年度
	松江市の屋外スポーツの拠点施設である松江総合運動公園は、昭和50年代に整備してから約40年が経過し、老朽化が進んでいることから、スポーツ施設としての安全性と利便性の向上を図り、市民の健康づくりや交流の場として利用促進を増進するため、国の支援制度を活用し再整備を行う。

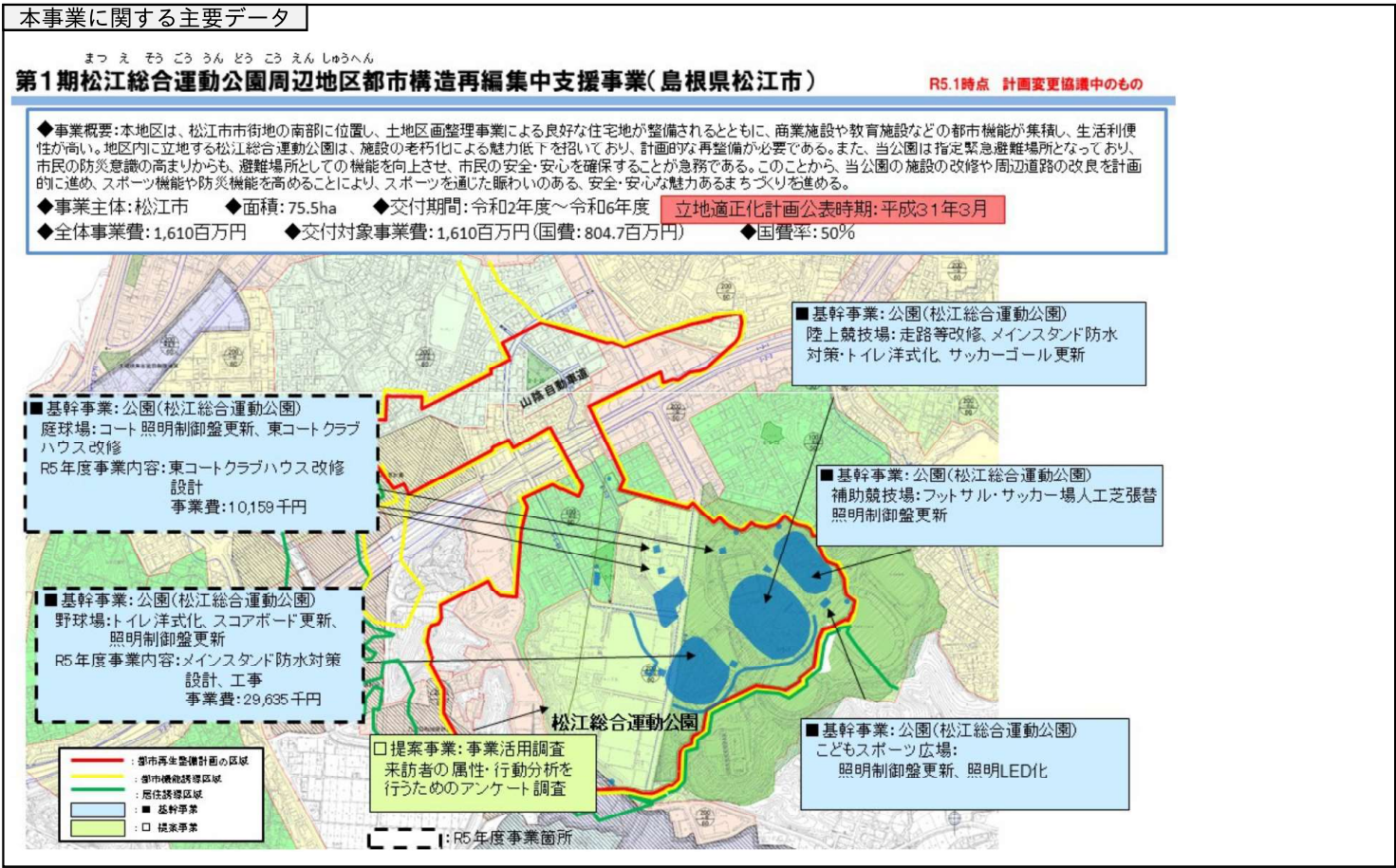
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	・市営野球場メインスタンド防水対策工事 ・市営庭球場東コートクラブハウス改修設計業務委託	・市営東庭球場クラブハウス改築工事	安全性と利便性の向上の観点から、優先度の高い改修・修繕を実施する。（調整中）
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	38,226	0
	国・県支出金	28,100	0
	地方債	7,200	0
	その他		
	一般財源	2,926	0
	歳入合計	38,226	0

課題	・2030年に島根県で国民スポーツ大会が開催されることとなった。式典会場は県立浜山公園陸上競技場に決定したが、松江総合運動公園内のスポーツ施設も競技会場として利用が予定されており、令和6年度に実施される中央競技団体視察を踏まえた改修計画の検討を要する。	方向性	・国民スポーツ大会の競技会場が決定されたことから、令和6年度に実施される中央競技団体視察において指摘された事項について、有利な財源が活用出来る期間に整備を行う。 ・国民スポーツ大会の競技会場とならない施設については、利用者ニーズを踏まえ事業費の平準化を図りながら整備を行う。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	体育施設整備事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月～6月	市営東庭球場クラブハウス改築工事入札、契約手続き等		
	7月～3月	市営東庭球場クラブハウス改築工事、現クラブハウス解体		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計		0	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ課	スポーツコミッション設立準備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	スポーツツーリズムの推進や合宿の誘致、スポーツ大会参加者の観光促進など、スポーツによる地域活性化を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		スポーツコミッションの活動（活動中＝1）		1		1
	目標（何を達成するのか）					
	スポーツ関係団体・観光事業者・経済団体・市などの官民組織が連携したスポーツコミッションの活動を通じて、スポーツによる地域活性化を図る。					

事業概要	令和2年3月に策定した「松江市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツ大会の運営や宿泊、観光などの支援をワンストップで行うためのプラットフォームとして、スポーツコミッションを設立する。
------	--

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	実証実験を継続し、観光や消費に関するデータを蓄積し、スポーツコミッションの事業計画について検討する。	スポーツコミッションの設立準備委員会を開催しながら事業計画について検討を進め、スポーツコミッションを設立する。	スポーツコミッションの事業計画に基づき、具体的な取組を開始する。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	4,226	6,528
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	4,226	6,528
歳入合計		4,226	6,528

課題	スポーツコミッションで取り組む活動・事業を具体的に整理し、事業計画の検討を進める必要がある。	方向性	令和6年度中のスポーツコミッション設立を目指し、設立後の具体的な取組について、実証実験で得られた成果をもとに、設立準備委員会の委員や関係団体の意見を聴取しながら検討を進める。
----	--	-----	---

文化スポーツ部スポーツ課 スポーツコミッション設立準備事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	地域スポーツコミッション推進事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	令和6年4月～	設立準備委員会開催、事業計画の検討		
	令和7年3月頃	スポーツコミッション設立		

本事業に関する主要データ

令和5年度の実証実験

時期	大会名	取組内容
R5. 6月	中四国学生バドミントン選手権大会	観光情報ブース設置、観光パンフレット配布、主催者・来場者ヒアリング調査
R5. 8月	全国教職員剣道選手権大会	観光情報ブース設置、観光パンフレット配布、参加者アンケート調査
R5. 9月	SOMPOボールゲームフェスタ	市内スポーツ関係団体と連携した児童向けスポーツ体験イベントの開催
R5. 11月	中国地区シニアバドミントン選手権大会	観光情報ブース設置、観光パンフレット配布、参加者アンケート調査
R5. 12月	国宝松江城マラソン2023	参加者アンケート調査、観光・文化施設優待券配布
R6. 1月	S/Jリーグ2023松江大会	大会PR協力、観光情報ブース設置、観光パンフレット配布
R6. 3月	まつえレディースハーフマラソン	参加者アンケート調査

国宝松江城マラソン2023（令和5年12月3日開催）

参加申込者3,750名に対し、観光・文化施設優待券（割引券）を事前に配布したところ、延べ604件の利用があった。



松城

文
化
館

観光・文化施設 優待券

国史館松江分館MUSEUM

松江市 文化スポーツ部 スポーツ課

クーポンを使用して2カ所以上の施設をご利用されたお客様に
国宝松江城マラソンオリジナルステッカーを
プレゼント!

詳細は裏面をご覧ください

 松城 20%OFF 入館料	 松城 20%OFF 入館料
 松江市史館 20%OFF 入館料	 松江市史館 20%OFF 入館料
 松江市史館 20%OFF 入館料	 松江市史館 20%OFF 入館料

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,915		
職員手当等	539		
共済費	425		
報償費	258		
旅費	665		
需用費	226		
委託料	2,500		
事業費計		6,528	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ課	中海スポーツパーク整備事業費（継続費）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市営スポーツ施設の安全性と利便性の向上を図り、スポーツを起点としたまちづくりを推進する。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		市営スポーツ施設年間利用者数（人）	1,209,881	1,300,000	1,300,000	1,300,000
	目標（何を達成するのか）	中海スポーツパーク施設年間利用者数（人）				60,000
	人工芝を備えた多目的広場を整備し、市民のスポーツ振興や健康づくりを推進するとともに中海周辺地域の活性化を図る。					

事業概要	（数値目標の目標年度）
	項目名 市営スポーツ施設年間利用者数：2029(R11)年度
	項目名 中海スポーツパーク施設年間利用者数：2029(R11)年度
	【概要】 人工芝グラウンド：1面、クレーグラウンド：1面 クラブハウス：1棟、トイレ1棟、ナイター照明：4基 駐車場：200台

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	・敷地造成工事 ・照明設備設計	・多目的広場整備工事（1/2） ・舗装工事（1/2） ・駐車場照明設備工事（1/2） ・排水設備工事（1/2） ・外構設備工事（1/2） ・クラブハウス建築工事（1/2） ・照明設備設置工事（1/2）	・多目的広場整備工事（2/2） ・舗装工事（2/2） ・駐車場照明設備工事（2/2） ・排水設備工事（2/2） ・外構設備工事（2/2） ・クラブハウス建築工事（2/2） ・照明設備設置工事（2/2）
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

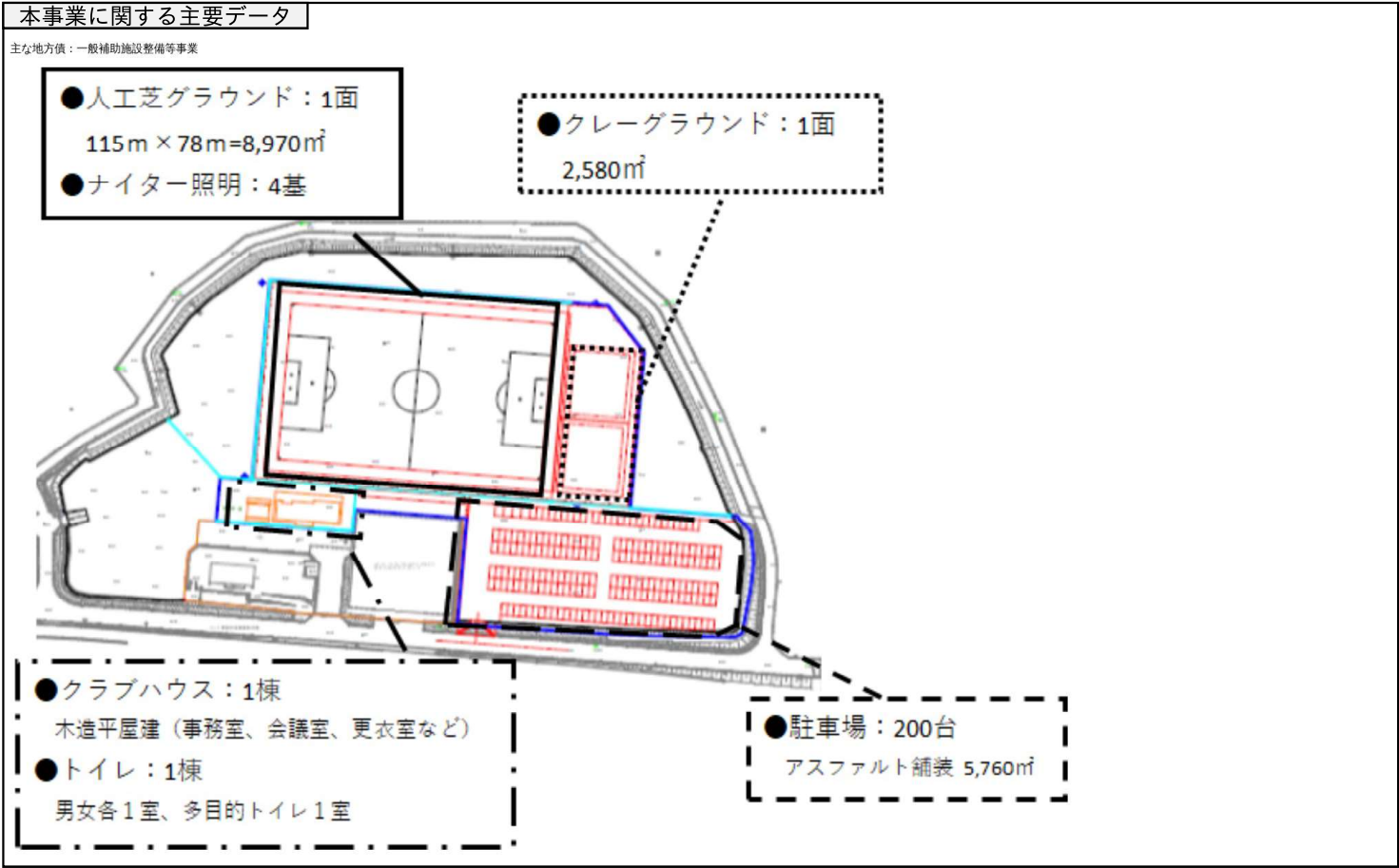
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		77,471	357,544
財源内訳	国・県支出金	51,170	108,345
	地方債	19,100	233,500
	その他	5,500	0
	一般財源	1,701	15,699
歳入合計		77,471	357,544

課題	現在、多目的に利用できる芝生のサッカーグラウンドは、市営補助競技場と北公園多目的広場の2ヶ所に限られ、休日・夜間に利用が集中し、施設予約が取りにくくなっており、本市のスポーツ振興を図るうえで市民ニーズに応えられていない。	方向性	幅広い年齢層の市民が、安全かつ快適に様々なスポーツに親しむことができる多目的広場を整備し、市民のスポーツ振興や健康づくりを推進する。
----	--	-----	--

文化スポーツ部スポーツ課 中海スポーツパーク整備事業費（継続費）

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	スポーツ振興の拠点づくり事業（スポーツパーク整備）

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月～7月	クラブハウス建築等工事入札、契約手続き		
	8月～10月	土木関係工事・照明設備工事入札、契約手続き		
	7月～3月	クラブハウス建築等工事（R6年度分）		
	10月～3月	土木関係工事（R6年度分）・照明設備工事（R6年度分）		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	357,544		
事業費計		357,544	